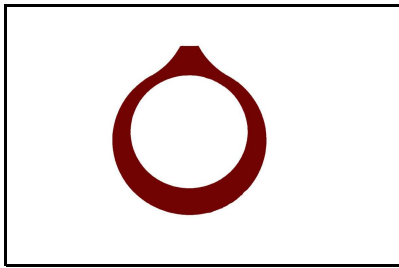


令和 4 年 度

小山町の教育

小山町教育委員会



町章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャル「O」を基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。

考案者は用沢の山崎先一さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に、町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。

1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。

1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。

1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。

1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、昭和57年12月5日制定。

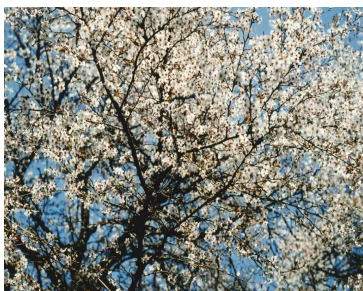
町の木

ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6mの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。

まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。

4月～6月にかけて、葉が伸びる前、一斉に開花する。

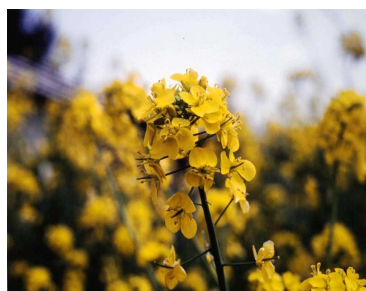


町の花

なのはな

10月ごろ、高畝にした田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。

また、開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜（とう菜）とされ各地に出荷している。



町の鳥

うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。

「ケキョ」の部分が富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声をもっともよいという。

特に須走に多く生息。



目 次

I 小山町の概要

1 位置と地勢	1
2 沿革	2
3 人口・世帯数の推移	3

II 教育行政

1 教育委員会〔歴代教育委員長・教育長・教育委員〕	4
2 教育委員会機構図および事務分掌	6
3 令和4年度教育方針・教育施策	7
4 教育費予算	10
5 民生費予算	13

III 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業	16
2 こども園の目標等	18
3 小学校、中学校、こども園一覧表	19
4 小山町立学校通学区一覧	21
5 学校の位置と標高	21
6 小学校、中学校、こども園施設の状況	22
7 小学校在籍者数の推移	23
8 中学校在籍者数の推移	24
9 幼稚園在園者数の推移	25
10 保育園・こども園在園者数の推移	26
11 教職員の構成	27
12 中学校卒業後の進路	28
13 今後5か年の就学児童推定表	28
14 就学奨励援助	29
15 育英奨学資金	30
16 学校保健	31
17 日本スポーツ振興センター	33
18 学校給食	34
19 放課後子ども教室・放課後児童クラブ一覧表	35

IV 社会教育

1 社会教育委員	36
2 生涯学習	36
3 芸術文化	41
4 文化財保護	42
5 小山町文化財地名表	45
6 図書館	46
7 社会体育	48

V 小山町教育機関等配置図

52

I 小山町の概要

1 位置と地勢

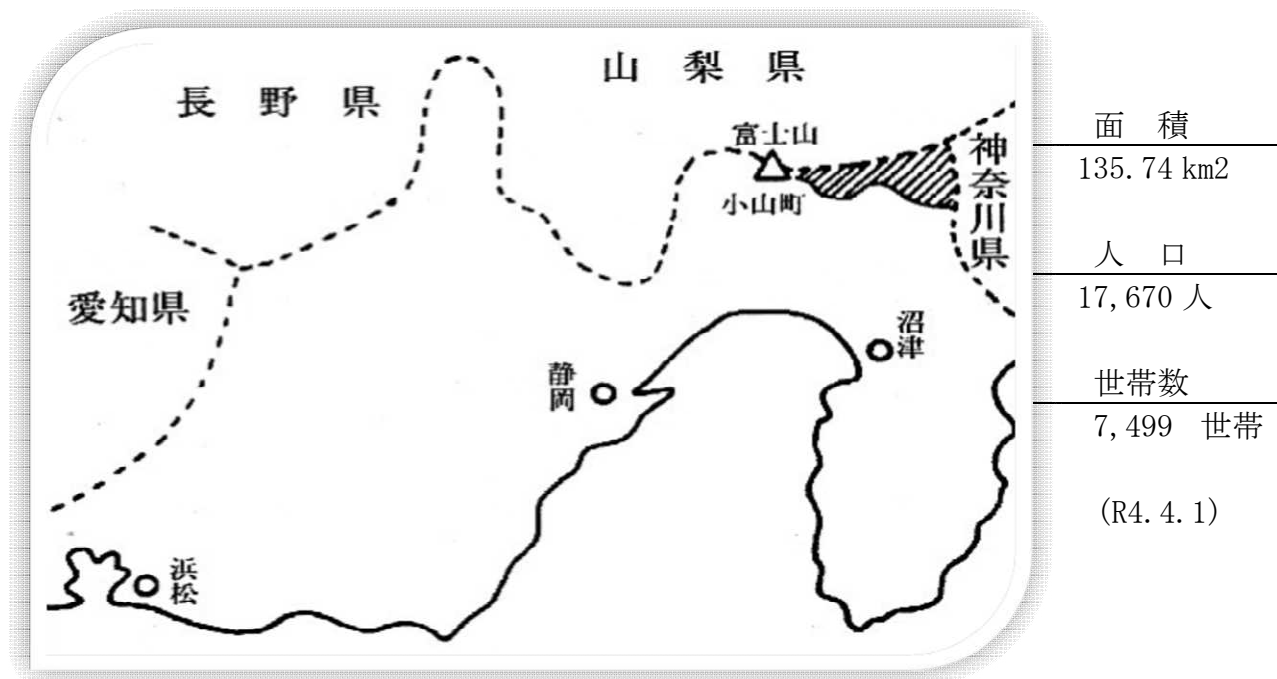
小山町は、静岡県の中東端(北緯35° 21′ 東経138° 59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と、北東方は丹沢山地(不老山930m)に、東南方は箱根外輪山(金時山1,212m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く伸び、面積は135.74km²である。

市街地、農耕地は、海拔およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地地帯にある。

河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が、馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ、酒匂川となって相模湾にそそいでいる。

気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路、そして、県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果たしている。



2 沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は、交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により、六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)、足柄村(竹之下<所領>、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。

平成24年8月1日には、町制施行100周年を迎えた。



小山町役場旧庁舎
昭和7年11月～昭和56年10月

小山町役場新庁舎
昭和57年11月～現在

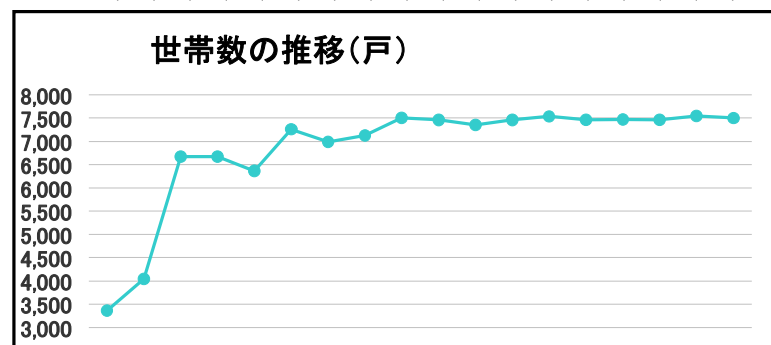
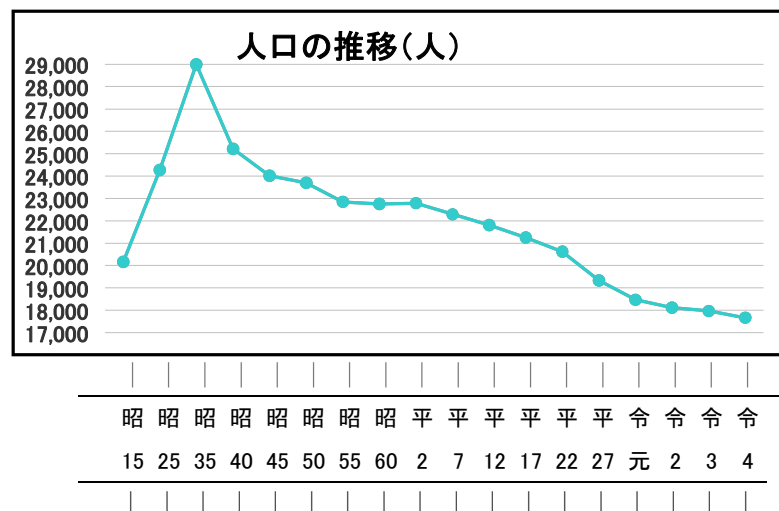


3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

地 区		小 山		足 柄		北 郷		須 走		計	
年		世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
国勢調査実施年	昭和 15 年	2,345	13,912	277	1,632	649	4,189	92	433	3,363	20,166
	25 年	2,844	16,803	337	1,961	753	4,922	113	592	4,047	24,278
	35 年	2,887	15,418	288	1,615	628	3,962	2,869	7,994	6,672	28,989
	40 年	2,990	14,606	298	1,565	694	3,816	2,691	5,232	6,673	25,219
	45 年	2,934	13,543	338	1,549	794	3,959	2,300	4,966	6,366	24,017
	50 年	3,460	12,228	403	1,675	1,179	4,817	2,219	4,976	7,261	23,696
	55 年	3,080	10,989	399	1,641	1,343	5,437	2,165	4,785	6,987	22,852
	60 年	3,082	10,789	432	1,676	1,491	5,777	2,120	4,512	7,125	22,754
	平成 2 年	3,132	10,345	424	1,711	1,553	5,911	2,393	4,823	7,502	22,790
	7 年	2,945	9,647	473	1,755	1,688	6,104	2,354	4,782	7,460	22,288
	12 年	2,710	8,799	550	2,006	1,698	6,036	2,396	4,973	7,354	21,814
	17 年	2,595	8,049	608	2,068	1,745	5,909	2,511	5,225	7,459	21,251
	22 年	2,562	7,529	648	2,119	1,831	5,912	2,493	5,062	7,534	20,622
	27 年	2,595	6,974	669	2,036	1,866	5,736	2,336	4,592	7,466	19,338
	令和 元 年	2,552	6,504	692	1,959	1,971	5,701	2,257	4,308	7,472	18,472
	2 年	2,561	6,375	704	1,921	2,019	5,735	2,179	4,092	7,463	18,123
	3 年	2,589	6,314	697	1,876	2,048	5,704	2,212	4,073	7,546	17,967
	4 年	2,528	6,102	695	1,842	1,997	5,621	2,279	4,105	7,499	17,670

グラフでみる人口・世帯数の推移



Ⅱ 教育行政

1 教育委員会

〔教育長および教育委員〕

職 名	ふりがな 氏 名	性別	任 期
教 育 長	たかはし まさひこ	男	令和6年 3月31日
	高 橋 正 彦		
委 員 教育長職務代理者	ゆやま のぶひこ	男	令和6年 9月30日
	湯 山 伸 彦		
委 員	いな けいこ	女	令和4年 9月30日
	稲 恵 子		
〃	やまぎし しげこ	女	令和5年9月30日
	山 岸 繁 子		
〃	さなだ たくじ	男	令和7年9月30日
	眞 田 拓 史		

〔歴代教育委員長・教育長〕

＜教育委員長＞

氏 名	就任年月日	退任年月日
小野 義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲 鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山 英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山 豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木 美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多 淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山 明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山 彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成18年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎 宏也	平成20年12月 1日	平成26年 9月30日
山口今朝治	平成26年10月 1日	平成27年 3月31日

＜教 育 長＞

氏 名	就任年月日	退任年月日
尾崎 幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷 典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺 諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野 隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田 實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田 正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
天野 文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日※
	平成27年 4月 1日	令和 3年 3月31日
高橋 正彦	令和 3年 4月 1日	現 在

※法律改正に対応するため辞職

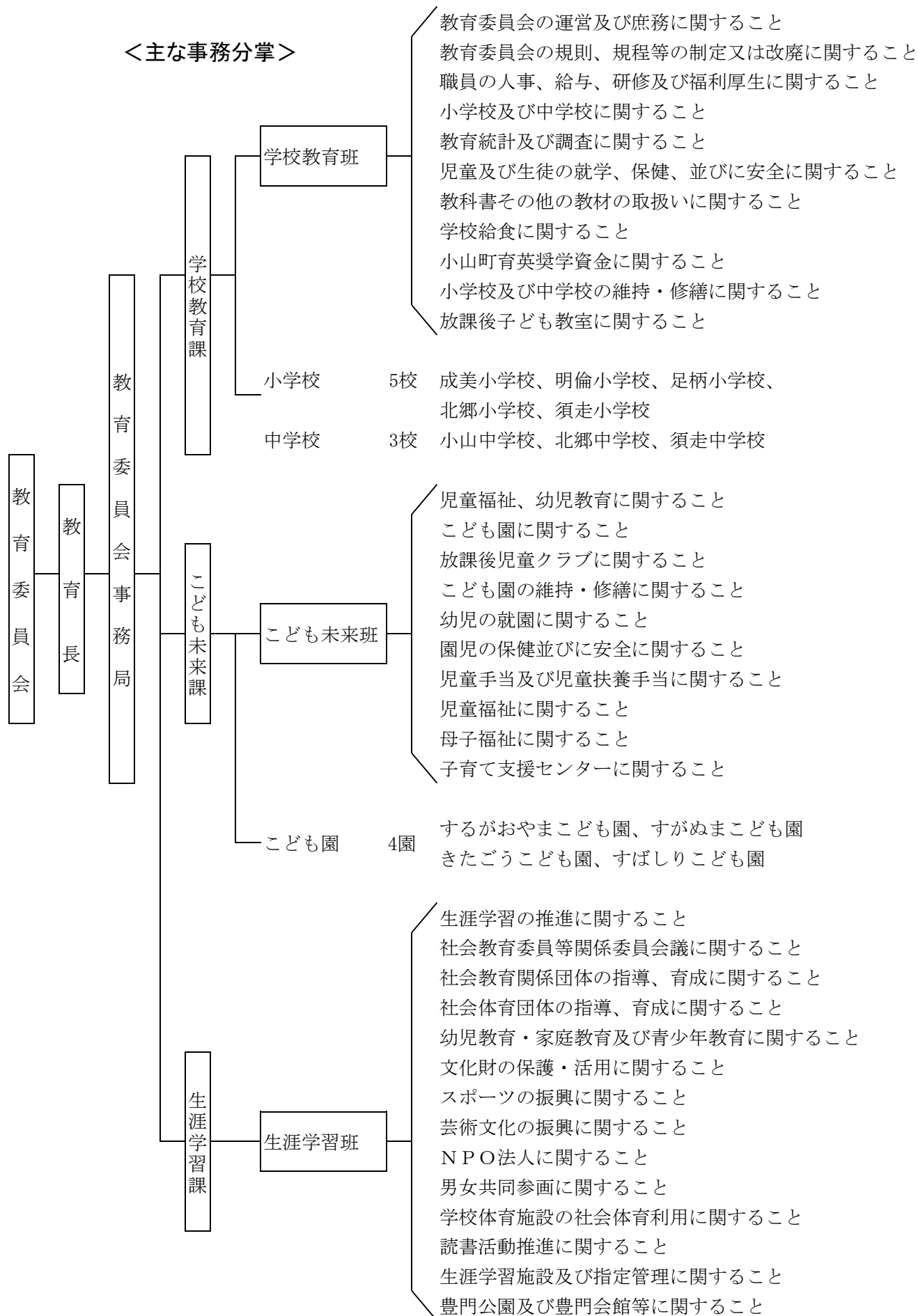
※平成27年3月31日法律改正により委員長職廃止

〔歴代教育委員〕

氏 名	就任年月日	退任年月日
永原 正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日
小見山 聞一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
芹澤 寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日
小野 義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日
湯山 松興	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日
長田 富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日
尾崎 幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日
小見山 権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日
田代 和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日
稲 鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日
高村 一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日
池谷 二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山 勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日
鈴木 繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日
池谷 典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日
湯山 英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日
渡辺 諄一	昭和50年10月 9日	昭和54年 9月30日
	昭和54年11月22日	昭和55年 9月30日
米山 豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日
岩田 章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日
岩田 亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
天野 隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
野木 美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日
藤曲 秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日
岩田 喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日

氏 名	就任年月日	退任年月日
稲 鈺泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
喜多 淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日
福山 宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
嶋田 實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
田代 六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
横山 明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
末光 愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
米山 元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
岩田 正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
米山 彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
山本 みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木 俊一	平成19年 7月 3日	平成23年 7月 2日
米山 珠江	平成18年 8月11日	平成24年 3月31日
吉岡 道隆	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
尾崎 宏也	平成14年10月 1日	平成26年 9月30日
齊藤 広人	平成20年 4月 1日	平成28年 3月31日
天野 文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日
山口 今朝治	平成24年12月 1日	平成28年11月30日
米山 芳子	平成24年 4月 1日	令和元年 9月30日
相原 正和	平成28年 4月 1日	令和 3年 9月30日
稲 恵子	平成23年 7月 3日	現 在
湯山 伸彦	平成28年12月 1日	現 在
山岸 繁子	令和元年10月 1日	現 在
眞田 拓史	令和 3年10月 1日	現 在

2 教育委員会機構図および事務分掌



3 令和4年度教育方針・教育施策

令和4年度 小山町教育委員会グランドデザイン（教育方針）



金太郎生誕の地 おやま

小山町民憲章

わたしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りを持ち、
金太郎のように、健康で、明るい、豊かなまちづくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

小山町教育委員会がめざす人間像

凛とした富士、強く優しい金太郎のような子
～生きて働く力を学び続ける小山町の教育～

富士のような人
人との関わり合いを大切にし、地域の一員として確かな存在感を持って、よりよい社会づくりに参画する人

金太郎のような人
ふるさと小山で育ったことに誇りを持ち、常に学び、自立した個人として、社会で自らの能力を発揮する人

知

生きて働く学力・体験

徳

豊かな心の醸成

体

健康な心身の育成

文部科学省
第3期教育振興基本計画
Society 5.0に向けて

静岡県教育振興基本計画
「有徳の人」づくり大綱
(2022～2025年度)

(●●●●●●●●は事業内容と各年代の関連を示します)

心豊かな生涯学習の推進

- ◎生涯学習の推進 ●●●●●●●●
 - ・生涯学習推進講演会、生涯学習フェスティバルの実施
 - ・生涯学習関連団体との連携推進
- ◎学習機会の提供 ●●●●●●●●
 - ・自主文化事業、各種講座、教室の開催
- ◎図書館サービス事業の充実 ●●●●●●●●
 - ・図書館ボランティアによる読書活動、夜間延長開館の実施
 - ・ブックスタート、セカンドブックの充実
 - ・子ども読書活動の推進
- ◎人材の活用・育成 ●●●●●●●●
 - ・生涯学習指導者による各種教室の開催
- ◎生涯学習環境の整備 ●●●●●●●●
 - ・総合文化会館、図書館、体育館等の指定管理による運営
- ◎情報提供と町民ニーズの反映 ●●●●●●●●
 - ・情報誌の発行
- ◎ふるさとを知り、ふるさとを愛する心の涵養 ●●●●●●●●
 - ・ふるさと金太郎博士事業の推進

誰もが活躍できる男女共同参画の推進

- ◎男女共同参画の推進 ●●●●●●●●
 - ・男女共同参画の啓発
 - ・男女の人権を尊重する教育や事業の推進
 - ・ジェンダー平等及びLGBTQ(性的マイノリティ)の理解促進

地域交流・国際交流の推進

- ◎地域間交流の推進 ●●●●●●●●
 - ・交流市町の生徒との富士登山
 - ・広島市における平和教育
- ◎国際理解教育の推進 ●●●●●●●●
 - ・中学生の海外派遣事業(国際友好協会との連携)
 - ・ALTの派遣事業の継続
 - ・夢チャレンジ事業の拡充

生きる力の基礎を育む 幼児教育・保育の充実

- ◎こども園から始まる小山町の人づくり ●●●●●●●●
 - ・こども園の充実、職員研修の推進
 - ・「小山町乳幼児カリキュラム」の活用
 - ・「遊び」の充実による豊かな社会性の育成
 - ・相談活動の充実、小・中・外機関との連携による発達支援
- ◎子育て支援の充実 ●●●●●●●●
 - ・こども園の「待機児童なし」の継続
 - ・ファミリーサポート事業、子育て支援センター「きんたろうひろば」
 - ・放課後児童クラブの充実
- ◎児童福祉の推進 ●●●●●●●●
 - ・児童虐待防止の働きかけ、相談体制の強化
 - ・関係諸機関との情報の共有

充実期

壮年期

子育て期

青年期

学校教育

幼児教育

地域文化の振興と青少年の育成

- ◎地域文化活動の推進 ●●●●●●●●
 - ・町民文化祭、文芸誌の発刊
 - ・おやまアートビレッジ事業の推進
 - ・文化連盟との連携
- ◎郷土資源・文化財の活用 ●●●●●●●●
 - ・文化財の周知
 - ・歴史と文化の継承・活用
- ◎家庭・地域社会における青少年の育成 ●●●●●●●●
 - ・中学生・高校生ボランティアの充実
 - ・子ども会、青少年育成団体への援助
 - ・青少年活動指導者リーダーの育成、はたちの集いの開催
 - ・青少年海外チャレンジへの助成

スポーツ・レクリエーション活動の振興

- ◎指導者、団体の育成 ●●●●●●●●
 - ・スポーツ推進委員、少年スポーツ指導者の育成
- ◎スポーツ・レクリエーションの推進 ●●●●●●●●
 - ・町民体育大会、各種スポーツ大会の開催
 - ・体育協会との連携
 - ・一人一運動の推進
 - ・青少年海外チャレンジへの助成

町民との協働・共創

- ◎協働・共創の仕組みづくり ●●●●●●●●
 - ・将来の地域活動等への参加につながる体験活動の重視
 - ・まちづくりのリーダーとなる人材の育成
 - ・社会総がかりのいじめ対応／子どもの見守り体制づくり
 - ・地域学校協働活動の充実
 - ・小山町版コミュニティスクール導入に向けての体制づくり
 - ・小山高生による小山町役場インターンシップ事業の推進

生きる力を育む学校教育の充実

- ◎確かな学力を身につける教育の推進 ●●●●●●●●
 - ・「学習指導要領」3つの柱を踏まえた教育の推進
 - ・少人数、TT指導の充実 町単独講師・支援員の配置
 - ・小・中連携、中・高連携、小・中連携の拡充
 - ・授業アドバンスの推進 特別支援教育の充実
 - ・低学年書道科の実施 外国語(英語教育)学習の充実
 - ・町教育研究校の指定、教育研究奨励賞設置
 - ・葉の花講座(校長会・教頭会主催)支援
 - ・地域に根付いた食育の推進
 - ・持続可能な社会づくりを踏まえた環境教育、エネルギー教育
 - ・ICTの利活用 時代に即応した教育環境の整備の推進
 - ・プログラミング教育の充実 タブレット端末の活用
 - ◎豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進 ●●●●●●●●
 - ・豊かな心を育む幼児教育、道徳授業の充実
 - ・金太郎教室の充実 特別支援教育の推進
 - ・人権教育、道徳教育の推進
 - ・安全でおいしい給食、食育の推進
 - ◎安心・安全な学びの場の整備 ●●●●●●●●
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の継続
 - ・学校における働き方改革の推進
 - ・子ども相談員の配置、適応指導教室の設置
 - ・生徒指導連絡会の充実
 - ・放課後子ども教室の開催
 - ・ユニバーサルデザインに対応する学校環境整備
 - ・学校施設活用の見直し
 - ・学校図書館支援員の配置、蔵書の充実
 - ・学校施設、教材、備品、ICTの整備
 - ・音楽鑑賞制度の周知
- ※ PDCAサイクルによる教育活動の評価と改善

小山町に育ち 生きる人

主な教育施策

① 心豊かな生涯学習の推進

- 生涯学習の推進
 - ・ 生涯学習推進委員会、講演会の開催
 - ・ 生涯学習フェスティバル、おやまアートビレッジ等の開催
- 文化芸術振興基本計画に基づいた事業の推進
 - ・ 文化事業、教室講座の開催、人材育成の推進
- 図書館サービス機能の充実
 - ・ 第3次小山町子ども読書活動推進計画に基づいた事業の推進
 - ・ ブックスタート・セカンドブック事業の充実
- 人材の活用及び育成
 - ・ ボランティアバンクの推進及び登録者を活用した各種教室の開催
- 施設の管理運営
 - ・ 適切な施設管理及び整備を進めるとともに多様な学習の場として活用
 - ・ 豊門公園及び豊門会館等の管理運営
- 情報提供と町民ニーズの反映
 - ・ 町民ニーズを的確に反映し、情報誌、チラシ等の発行

② 地域文化の振興と青少年の育成

- 地域文化活動の推進
 - ・ 町民文化祭等の開催
 - ・ 文芸誌『駿河路』の発刊及び「駿河路のつどい」の開催
- 郷土資源及び文化財の活用
 - ・ 文化財の保護及び活用普及
- 家庭・地域社会における青少年の育成
 - ・ ふるさと金太郎博士事業の推進
 - ・ 青少年団体の支援及び青少年補導の実施
 - ・ はたちの集いの開催及び新成人者への記念品を贈呈
 - ・ 金太郎教室の運営、指導

③ スポーツ及びレクリエーションの活動の振興

- スポーツ振興基本計画に基づいた事業の推進
 - ・ スポーツ推進委員活動の推進
 - ・ スポーツ事業、教室講座の開催、人材育成の推進
- スポーツ及びレクリエーションの推進
 - ・ 町民スポーツ祭等各種スポーツ大会の開催
 - ・ レクリエーションスポーツの普及

④ 生きる力を育む学校教育の充実

- 確かな力を育む学校教育の充実
 - ・ 少人数・T T授業の実施
 - ・ 低学年支援員、特別支援員の配置
 - ・ 特別支援教育の充実
 - ・ こども相談員による巡回相談の実施
 - ・ 授業アドバイザーの配置
 - ・ 人権教育の推進
 - ・ 学校図書館の充実のための支援員の配置
 - ・ 放課後子ども教室の充実
 - ・ 夢チャレンジ事業の推進（英検受験・総合学力調査）
 - ・ ICT教育環境の充実、タブレット端末の活用

○ 小山町金太郎十か条の推進

小山町 金太郎十か条

金太郎のような強い心と体、高い志を持ち、

みんなのために役立つ人を目指します

- 一、あいさつを進んでします
- 二、きまりを守ります
- 三、みんなと仲良くします
- 四、時間を守ります
- 五、うそや隠しごとはしません
- 六、早寝早起きをして、朝ご飯を食べます
- 七、相手を考えた言葉づかいをします
- 八、毎日、本を読み、勉強をします
- 九、体を進んで動かします
- 十、いろんなことに進んで挑戦します

○ 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進

- ・ 道徳の時間を要とした心の教育の推進
- ・ 食育の推進
- ・ 安全でおいしい学校給食の実施
- ・ 生徒指導連絡会の充実

○ 家庭教育及び幼児教育の推進

- ・ ペンギンランドの充実
- ・ こども相談員による巡回相談の実施

○ 信頼のある安心な学びの場の整備の推進

- ・ 小中学校エアコン設置完了
- ・ 教材備品、図書の整備
- ・ 遊具、体育器具の安全点検
- ・ 1人1台タブレット端末の利活用
- ・ 地域とともにある学校づくりの推進
- ・ 育英奨学制度の周知

⑤ 地域間交流及び国際交流の推進

○ 国際理解の推進

- ・ ALT配置事業の実施

⑥ 子育て支援の充実

○ 子育てしやすい環境の整備

- ・ こども園運営の充実
- ・ ファミリーサポート事業の推進
- ・ 放課後児童クラブの充実

○ DV及び児童虐待防止の啓発や働きかけ、相談体制の強化

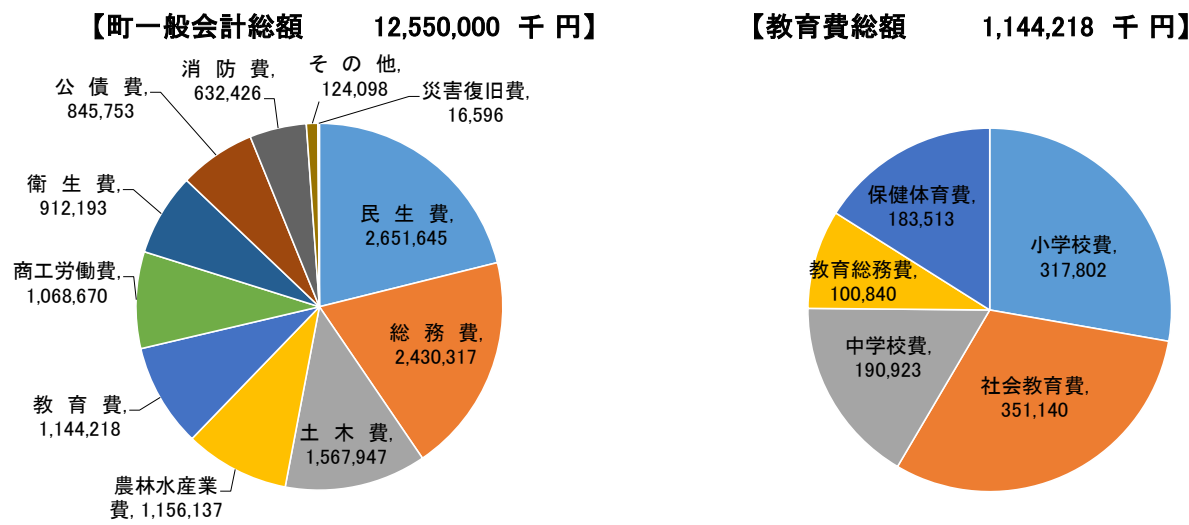
- ・ 関係機関との相談体制の強化

4 教育費予算

令和4年度教育費予算(当初予算)は、11億4千421万8千円で、前年度に比べ1億9千162万3千円の増額(前年度比120.1%)となり、町一般会計予算125億5千万円の9.1%(前年度8.3%)となっている。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

(単位：千円)



(2) 教育費予算の推移(当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	教 育 費 総 額	町予算に対する割合
平成 23 年度	8,530,000	1,426,441	16.7%
平成 24 年度	7,760,000	820,305	10.6%
平成 25 年度	9,120,000	889,245	9.8%
平成 26 年度	8,820,000	1,199,290	13.6%
平成 27 年度	8,970,000	805,276	9.0%
平成 28 年度	9,580,000	775,202	8.1%
平成 29 年度	10,600,000	909,703	8.6%
平成 30 年度	12,480,000	1,102,788	8.8%
令和 元 年度	15,230,000	1,812,361	11.9%
令和 2 年度	10,940,000	917,467	8.4%
令和 3 年度	11,460,000	952,595	8.3%
令和 4 年度	12,550,000	1,144,218	9.1%

費 目	R4予算額	割 合
民 生 費	2,651,645	21.1%
総 務 費	2,430,317	19.4%
土 木 費	1,567,947	12.5%
農林水産業費	1,156,137	9.2%
教 育 費	1,144,218	9.1%
商工労働費	1,068,670	8.5%
衛 生 費	912,193	7.3%
公 債 費	845,753	6.7%
消 防 費	632,426	5.0%
そ の 他	124,098	1.0%
災害復旧費	16,596	0.1%
一般会計総額	12,550,000	100.0%

費 目	R4予算額	割 合
小学校費	317,802	27.8%
社会教育費	351,140	30.7%
中学校費	190,923	16.7%
教育総務費	100,840	8.8%
保健体育費	183,513	16.0%
計	1,144,218	100.0%

(3) 令和4年度教育費予算の内訳

(単位：千円)

	4年度 予 算	3年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	1,144,218	952,595	191,623	7,036	110,300	193,210	833,672
1. 教育総務費	100,840	110,112	△9,272	17	0	1,000	99,823
1. 教育委員会費	1,216	1,209	7				1,216
2. 事務局費	99,624	108,903	△9,279	17		1,000	98,607
2. 小学校費	317,802	310,891	6,911	2,178	13,000	81,013	221,611
1. 学校管理費	298,215	290,281	7,934		13,000	81,013	204,202
2. 教育振興費	19,587	20,610	△1,023	2,178			17,409
3. 中学校費	190,923	231,972	△41,049	2,987	0	41,108	146,828
1. 学校管理費	166,289	184,167	△17,878	2,564		41,108	122,617
2. 教育振興費	24,634	47,805	△23,171	423			24,211
4. 社会教育費	351,140	255,187	95,953	1,854	97,300	11,802	240,184
1. 社会教育総務費	57,843	55,472	2,371	540		300	57,003
2. 文化振興費	10,386	14,711	△4,325	1,314		610	8,462
3. 図書館費	520	463	57				520
4. 生涯学習センター管理費	282,391	184,541	97,850		97,300	10,892	174,199
5. 保健体育費	183,513	44,433	139,080	0	0	116,174	29,839
1. 保健体育総務費	22,930	24,685	△1,755			400	22,530
2. 体育施設費	160,583	19,748	140,835		37,500	115,774	7,309

① 人口1人当たりの教育費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
教 育 費	2,225,995,263	995,551,704	952,595,000	1,144,218,000
人 口 (年 度 当 初)	18,472	18,123	17,967	17,670
1 人 当 た り の 教 育 費	120,506	54,933	53,019	64,755

② 児童1人当たりの小学校費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
小 学 校 費	749,201,945	349,503,413	310,891,000	317,802,000
児 童 数 (5 月 1 日 現 在)	943	913	885	916
1 人 当 た り の 小 学 校 費	794,488	382,808	351,289	346,945

③ 生徒1人当たりの中学校費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
中 学 校 費	418,255,186	223,398,975	231,972,000	190,923,000
生 徒 数 (5 月 1 日 現 在)	428	425	438	438
1 人 当 た り の 中 学 校 費	977,232	525,645	529,616	435,897

④ 園児1人当たりの幼稚園費

(単位：円/人)

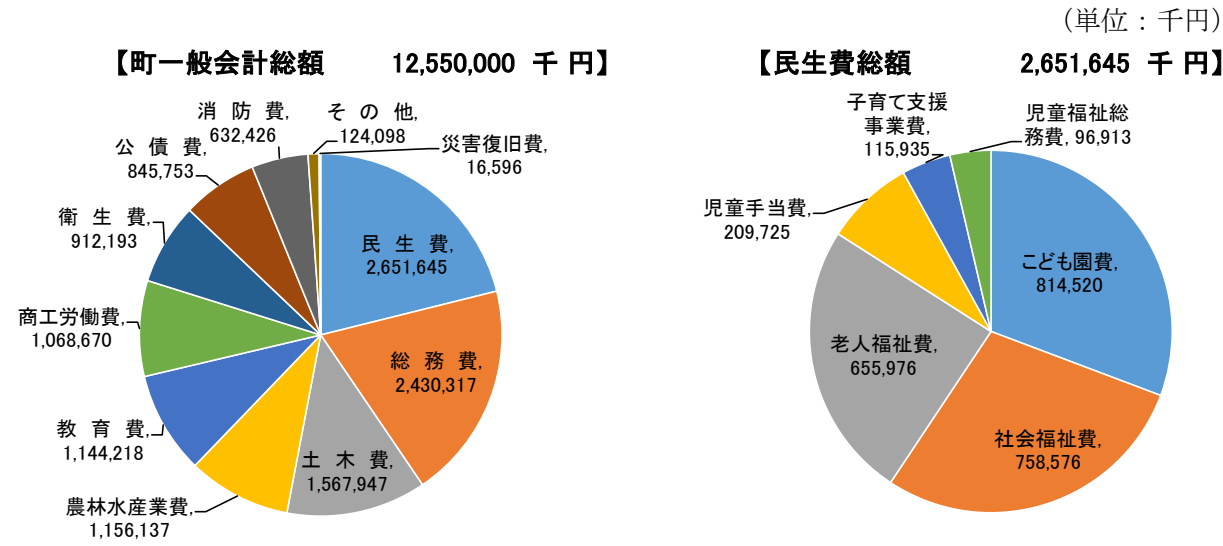
区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
幼 稚 園 費	204,155,125			
園 児 数 (5 月 1 日 現 在)	129			
1 人 当 た り の 幼 稚 園 費	1,582,598			

※R2からすべての地区でこども園化に伴い、こども園関係は民生費に計上

5 民生費予算

令和4年度児童福祉費(当初予算)は、12億3709万3千円で、前年度に比べ1210万6千円の増額(前年度比100.9%)となり、そのうち、こども園費8億1452万円、子育て支援事業費1億1593万5千円で民生費予算26億5164万5千円となっている。

(1) 一般会計歳出予算と民生費予算



(2) 民生費予算の推移(当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	民 生 費 総 額	町予算に対する割合
平成 23 年度	8,530,000	2,024,887	23.7%
平成 24 年度	7,760,000	1,782,161	23.0%
平成 25 年度	9,120,000	2,211,360	24.2%
平成 26 年度	8,820,000	1,844,938	20.9%
平成 27 年度	8,970,000	2,342,664	26.1%
平成 28 年度	9,580,000	1,933,076	20.2%
平成 29 年度	10,600,000	2,005,992	18.9%
平成 30 年度	12,480,000	1,960,267	15.7%
令和 元 年度	15,230,000	2,307,639	15.2%
令和 2 年度	10,940,000	3,280,026	30.0%
令和 3 年度	11,460,000	2,568,465	22.4%
令和 4 年度	12,550,000	2,651,645	21.1%

費 目	R4予算額	割 合
民 生 費	2,651,645	21.1%
総 務 費	2,430,317	19.4%
土 木 費	1,567,947	12.5%
農林水産業費	1,156,137	9.2%
教 育 費	1,144,218	9.1%
商工労働費	1,068,670	8.5%
衛 生 費	912,193	7.3%
公 債 費	845,753	6.7%
消 防 費	632,426	5.0%
そ の 他	124,098	1.0%
災害復旧費	16,596	0.1%
一般会計総額	12,550,000	100.0%

費 目	R4予算額	割 合
こども園費	814,520	30.7% ※
社会福祉費	758,576	28.6%
老人福祉費	655,976	24.7%
児童手当費	209,725	7.9% ※
子育て支援事業費	115,935	4.4% ※
児童福祉総務費	96,913	3.7% ※
計	2,651,645	100.0%

※所管 教育委員会

(3) 令和4年度民生費予算の内訳

(単位：千円)

	4年度 予 算	3年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
3. 民生費	2, 651, 645	3, 361, 171	△709, 526	878, 514	8, 500	216, 111	1, 548, 520
1. 社会福祉費	758, 576	697, 911	60, 665	383, 361	8, 500	6, 468	360, 247
1. 社会福祉 総務費	103, 595	91, 794	11, 801	4, 185		10	99, 400
2. 障害者福祉費	470, 998	454, 367	16, 631	306, 272		4, 320	160, 406
3. 健康福祉 会館管理費	40, 949	33, 842	7, 107		8, 500	2, 138	30, 311
4. 国民健康 保険費	123, 632	110, 689	12, 943	57, 474			66, 158
5. 国民年金 事務取扱費	7, 185	7, 219	△34	3, 213			3, 972
6. 特別給付金費	12, 217	0	12, 217	12, 217			0
2. 老人福祉費	655, 976	645, 567	10, 409	41, 658	0	28, 005	586, 313
1. 老人福祉 総務費	110, 059	102, 216	7, 843	5, 086		15, 282	89, 691
2. 介護保険費	301, 087	309, 618	△8, 531	9, 967			291, 120
3. 後期高齢者 医療費	244, 830	233, 733	11, 097	26, 605		12, 723	205, 502
3. 児童福祉費	1, 237, 093	2, 017, 693	△780, 600	453, 495	0	181, 638	601, 960
1. 児童福祉 総務費	96, 913	96, 505	408	68, 519			28, 394
2. 児童手当費	209, 725	219, 648	△9, 923	176, 456			33, 269
3. こども園費	814, 520	809, 674	4, 846	171, 662		181, 544	461, 314
4. 子育て支援 事業費	115, 935	99, 160	16, 775	36, 858		94	78, 983

① 人口1人当たりの民生費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
民 生 費	2,650,313,259	4,581,902,650	3,233,338,664	2,651,645,000
人 口 (年 度 当 初)	18,472	18,123	17,967	17,670
1 人 当 た り の 民 生 費	143,477	252,823	179,960	150,065

② 園児1人当たりのこども園費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
こ ども 園 費	940,984,565	1,089,952,876	1,142,785,497	814,520,000
園 児 数 (5 月 1 日 現 在)	508	622	611	538
1 人 当 た り の こ ど も 園 費	1,852,332	1,752,336	1,870,353	1,513,978

※私立園を含む

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業

(1) 研究、研修の推進

- ・ 校長及び教頭研修
学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
- ・ 生徒指導主事(任)研修の実施と生徒指導の充実
「学校いじめ防止基本方針」の策定による「いじめ」の早期発見・早期対応、
不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
- ・ 町指定研究校
成美小学校・明倫小学校
- ・ 町初任者研修会、中堅教諭等資質向上研修、2年次研修、3年次研修 実施
- ・ 特別支援教育推進事業
- ・ 教頭研修会
- ・ 支援員研修会
- ・ 研修主任研修会
- ・ 菜の花講座（若手教員研修会）

(2) 校内研修の推進

- ・ 自校の課題に沿って研修、研究を進める。
- ・ 駿東地区教育研究会に参加し、各校の教育実践をもとに研修を深める。
指導主事、指導員の積極的な校内研修への参加、指導、助言
各校の研究主題(テーマ)
 - ・ 成美小学校 : 「対話を通して、学びを深め合う子の育成」
～聴き合う 伝え合う 高め合う授業～
 - ・ 明倫小学校 : 「自ら考え表現する子」
～つながりを意識して考えを深めていく授業をめざして～
 - ・ 足柄小学校 : 「自ら伝え合い 学びを深める子の育成」
～道徳授業を中核として～
 - ・ 北郷小学校 : 「学びを楽しむ子」
～進んで表現する子をめざして～
 - ・ 須走小学校 : 「関わり合い 学びを深める子」
～自分の言葉で伝え合い、みんなでつなげる授業をめざして～
 - ・ 小山中学校 : 「子供が主役となり 学び続ける授業の実現」
 - ・ 北郷中学校 : 「自ら粘り強く学ぶ生徒の育成」
～「つながり」を大切にした「学びのスパイラル」のある生き生きとした授業を通して～
 - ・ 須走中学校 : 「よく聴き、深く考え、いきいきと表現する生徒の育成」
～個の学びを保障する授業を目指して～

(3) こども園研修の推進

小山町各園統一研修テーマ

「生きる力の基礎を培う保育の創造」

各園の研修テーマ

- ・ するがおよまこども園：『意欲的に遊べる子を育てる環境や援助の工夫
～子どもも保育者も「あーたのしかった」～』
- ・ すがぬまこども園：『安心・安全な環境でのびやかに遊べる子の育成』
- ・ きたごうこども園：『子どもが自ら動きだせるような環境をめざして』
- ・ すばしりこども園：『子どもの発達を踏まえた環境づくりの工夫
～意欲的な子ども達をめざして～』

(4) 教職員教育論文の奨励

- ・ 小山町教育研究奨励賞の授与

(5) 健康教育

- ・ 学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
- ・ 校内体力テストの実施
- ・ 「のびゆくこども」の編集刊行

(6) 思いやり豊かな心を育てる

- ・ 三世代主張大会
町老人クラブ連合会主催支援
- ・ サマーショートボランティア活動
静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催
- ・ 老人福祉施設等訪問交流
- ・ 地域美化活動への参加

(7) 平和教育の推進

- ・ 小山町立中学校に在籍する生徒が広く平和のすばらしさや命の重みについて深く考えながら自尊心の高揚を図るため、被爆地である広島市等へ生徒6名を派遣する。派遣後、見聞したことを、校内外の発表の場において、広く平和な生活のすばらしさや命の重みについて、その考えや思いを伝える。

(8) 適正な就学指導と理解啓発

- ・ 町教育支援委員会:年3回実施のほか、随時相談活動を進める。

(9) 小学校・中学校・こども園の教育環境の整備充実

- ・ 各小・中学校・こども園の施設および備品等の整備

2 こども園の目標等

(1) こども園の目標

- ・ するがおやまこども園：「みんなでわくわく遊べる子」
＜かんがえる子＞ ＜やさしい子＞ ＜げんきな子＞
- ・ すがぬまこども園：「富士のもと たくましくのびのび遊べる子」
＜やってみようとする子＞ ＜やさしい子＞ ＜げんきな子＞
- ・ きたごうこども園：「富士のもと のびやかにあそぶ子」
＜かんがえる子＞ ＜やさしい子＞ ＜たくましい子＞
- ・ すばしりこども園：「富士のもと 心豊かな たくましい子」
＜自分を発揮できる子＞ ＜思いやりのある子＞ ＜元気に遊ぶ子＞

(2) こども園における歳児別保育目標

- ・ 0歳児：
 - ・ それぞれのリズムで生活し、安心して過ごす。
 - ・ 保育者との信頼関係を深める。
 - ・ 環境との関わりの中で、様々な物に好奇心と興味をもち楽しむ。
- ・ 1歳児：
 - ・ 保育者と信頼関係を築き、安心して過ごす。
 - ・ 好きな遊びや探索活動を十分に楽しむ。
 - ・ 様々な体の動きを経験し、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・ 保育者や友達と見立て遊びやつもり遊びなどを楽しむ。
 - ・ 保育者に気持ちや思いを見振りや簡単な言葉で表現しようとする。
- ・ 2歳児：
 - ・ 一人一人が安心して生活を送る中で、自分の思いを表現し、十分に自己発揮していく。
 - ・ 保育者とかかわりの中で、自分でできることが増え、生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
 - ・ 保育者や友達と関わり合う喜びや楽しさを知る。
 - ・ 保育者や友達と一緒に言葉のやりとりをし、ごっこ遊びを楽しむ。
 - ・ 様々な季節の自然にふれ、関心をもった事象について探り、発見する楽しさを知る。
- ・ 3歳児：
 - ・ 園生活に慣れ親しみ、安心して過ごす。自分でできる喜びを感じ、自ら行おうとする。
 - ・ 新しい環境の中で自分を思いきり表現し、様々な事柄に興味・関心をもつ。
 - ・ 保育者や友達と一緒に言葉のやり取りを楽しみ、イメージを共有しながらごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。
 - ・ 友達との関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・ 4歳児：
 - ・ 安心して自己発揮し、園生活を楽しむ。
 - ・ 自分がやりたいことを見つけ、夢中になって遊び込む。
 - ・ 保育者や友達に親しみを持ち、共に遊び生活することの喜びや楽しさを味わう。
 - ・ 遊びや生活の中で感じた疑問や、目的に向けて、試したり、工夫したり、挑戦したりする。
 - ・ 身近な社会や自然の事象に興味や関心を抱き、親しむ。
 - ・ 遊びの経験を広げ、さまざまな方法で表現する。
- ・ 5歳児：
 - ・ 豊かな体験を積み重ねながら、健康や安全への意識をもち、自ら主体的に行動する。
 - ・ 自分の気付きや、考え、思いを、友達と共有しながら、試行錯誤したり、創意工夫したりして、遊びを楽しむ。
 - ・ 生活や遊びの中で、数量・図形、標識や文字などに対する感覚を豊かにし、様々な方法で表現する。
 - ・ 自然や季節、文化、社会、様々な人と関わりながら、好奇心や探究心、畏敬の心や命の大切さを感じ、遊びや生活に取り入れる。
 - ・ 好奇心、探究心をもって行動し、友達と共に考え、判断して、充実した園生活を過ごす。

3 小学校、中学校、こども園一覧表

(1) 小学校

(令和4年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	児童数			学 年 別 児 童 数					
						男	女	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7. 3	藤曲 150	76-0063 76-0876	田中清子 品川秀一	(1) 6	(1) 63	(1) 74	(2) 137	26	20	22	21	25	(2) 23
明倫小学校	明43. 11	菅沼 627	76-0064 76-0051	齊藤浩二 樋口奈津子	(1) 6	(1) 57	(1) 61	(2) 118	25	(2) 16	20	22	21	14
足柄小学校	明42. 12	竹之下 2411-1	76-0596 76-0327	川幡 聡 土屋貴弘	6	34	34	68	14	12	11	11	10	10
北郷小学校	明14. 10	用沢 604-1	78-0520 78-0500	高橋政之 勝又理恵	(2) 12	(6) 191	(4) 160	(10) 351	(2) 62	(3) 59	(4) 64	54	63	(1) 49
須走小学校	明7. 5	須走 70-18	75-2730 75-2729	杉山 浩 井上幹夫	(2) 8	(2) 111	(5) 110	(7) 221	(1) 39	(1) 35	(1) 31	(1) 35	(1) 35	(3) 46
合 計					(6) 38	(10) 456	(11) 439	(21) 895	(2) 166	(6) 142	(5) 148	(1) 143	(1) 154	(6) 142

()は特別支援学級・児童数

(2) 中学校

(令和4年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	生徒数			学年別生徒数		
						男	女	計	1年	2年	3年
小山中学校	昭22. 4	藤曲 142	76-0154 76-0308	櫻井雅彦 富田実奈子	(2) 7	(4) 97	(1) 80	(5) 177	(2) 45	(1) 71	(2) 61
北郷中学校	昭22. 4	用沢 355	78-0514 78-0585	本田 章 滝口宜男	(1) 6	(1) 79	(2) 79	(3) 158	(3) 54	59	45
須走中学校	昭22. 4	須走 99-7	75-2004 75-2088	北條和広 小池由美子	(2) 4	(5) 46	(5) 44	(5) 90	(1) 27	(2) 36	(2) 27
合 計					(5) 17	(10) 222	(3) 203	(13) 425	(6) 126	(3) 166	(4) 133

()は特別支援学級・児童数



北郷中学校

(3) こども園

(令和4年5月1日現在)

園 名 (創立年月)	第1園舎 所在地	電 話	園長名	学級数	園児数			年齢別園児数					
	第2園舎				男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
するがおやまこども園 (令和2年4月)	生土132-1 小山289-1	76-0423 76-0479	村松千賀子	6	26	29	55	1	6	5	13	12	18
すがぬまこども園 (令和2年4月)	菅沼274-2	76-0429	鈴木眞澄	6	43	41	84	4	8	15	20	18	19
きたごうこども園 (平成26年4月)	用沢207-1	78-0504	斎藤美栄	9	60	75	135	5	13	12	28	29	48
すばしりこども園 (令和2年4月)	須走153 須走83	75-2720 75-2710	杉浦紀子	9	61	63	124	6	12	14	26	34	32
町立こども園 計				30	190	208	398	16	39	46	87	93	117
私立菜の花こども園 (平成28年4月)	竹之下570-1	76-6622	田代志のぶ	6	43	39	82	4	8	15	19	16	20
私立みらいこども園 (令和2年4月)	上野1024-5	76-2323	高橋さと江	6	28	30	58	2	13	14	12	15	2
私立こども園 計				12	71	69	140	6	21	29	31	31	22
合 計				42	261	277	538	22	60	75	118	124	139

※令和2年4月～町立園全園こども園化

駿河小山幼稚園（平成22年4月）・いきど保育園（昭和31年9月）→するがおやまこども園

すがぬま保育園（昭和38年11月）→すがぬまこども園

足柄幼稚園（昭和35年4月）→廃園（令和2年3月）

須走幼稚園（昭和31年4月）・すばしり保育園（昭和30年9月）→すばしりこども園

4 小山町立学校通学区一覧

(1) 通常学級の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
成 美 小 学 校	小山1区～4区、生土区、音湊区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明 倫 小 学 校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足 柄 小 学 校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北 郷 小 学 校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須 走 小 学 校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小 山 中 学 校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 中 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域

(2) 特別支援学級(知的障害)の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
成 美 小 学 校	成美小学校の通常学級の通学区域
明 倫 小 学 校	明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 小 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 小 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域
小 山 中 学 校	小山中学校の通常学級の通学区域
北 郷 中 学 校	北郷中学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走中学校の通常学級の通学区域

(3) 特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
明 倫 小 学 校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 小 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 小 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域
小 山 中 学 校	小山中学校、北郷中学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走中学校の通常学級の通学区域

5 学校の位置と標高

学 校 名	緯 度	経 度	標 高
成 美 小 学 校	35° 21' 36"	138° 59' 16"	3 0 0 m
明 倫 小 学 校	35° 21' 10"	138° 58' 41"	3 2 1 m
足 柄 小 学 校	35° 19' 46"	138° 59' 09"	3 4 2 m
北 郷 小 学 校	35° 20' 28"	138° 56' 49"	4 4 6 m
須 走 小 学 校	35° 21' 39"	138° 52' 21"	7 8 2 m
小 山 中 学 校	35° 21' 29"	138° 59' 23"	2 8 5 m
北 郷 中 学 校	35° 20' 39"	138° 56' 57"	4 4 5 m
須 走 中 学 校	35° 21' 44"	138° 52' 18"	7 8 9 m

6 小学校、中学校、こども園施設の状況

小学校

令和4年5月1日現在

学校名		校舎等の現状						校地の状況			付属施設	
		校舎			屋内運動場			運動場㎡	校地敷地 その他 ㎡	合計㎡	屋外運動施設	
		木造㎡	非木造㎡	建設 年月	木造㎡	非木造㎡	建設 年月				プール	建設 年月
成 美 小学校	校		4,166	S59.7		1,126	S54.3	屋			50*15	S34.9
	給		225	S59.8							・ 22.5*4.5	S51.3
	計		4,391			1,126		5,517	8,755	11,328	20,083	
明 倫 小学校	校		3,656	S60.7		(1,123)	S53.3	屋			25*13	H10.6
	給		148	S60.9				3,804			・ 13*5	
	計		3,804			(1,123)		(4,927)	8,377	5,745	14,122	
足 柄 小学校	校		2,192	S61.3		474	S46.2	屋			(25*12)	
	給		313	S61.10	35		S52.3				・ (60㎡)	S47.8
	計		2,505		35	474		3,014	4,082	10,864	14,946	
北 郷 小学校	校		1,800	S54.3		(1,126)	S56.3	屋			(25*12)	
	校		2,802	H1.3							・ (10*10)	S48.8
	給		255	S54.3				4,857				
	計		4,857			(1,126)		(5,983)	13,005	7,035	20,040	
須 走 小学校	校		4,168	S62.10		1,557	H24.2	屋			25*17	
	給		1,091	H10.3							・ 25*5.2	S63.7
	給	167		H27.3								
	計	167	5,259			1,557		6,983	12,375	11,558	23,933	

※屋内運動場（ ）は地区児童屋内体育館

※（ ）は地区町民プール・印は低学年用

中学校

学校名		校舎等の現状						校地の状況			
		校舎			屋内運動場			合計㎡	運動場㎡	校地敷地 その他 ㎡	合計㎡
		木造㎡	非木造㎡	建設 年月	木造㎡	非木造㎡	建設 年月				
小 山 中学校	校		1,755	S49.3		(1,479)	S57.3	屋 格			
	校		3,480	H22.11		416	H24.1				
	給		708	H9.3							
	計		5,943			(1,895)	(7,838)		15,412	7,614	23,026
北 郷 中学校	校		3,574	H8.12		312	S60.3	格 屋			
	校		546	H8.12		1,497	H23.1				
	計		4,120			1,809					
							5,929		15,634	23,805	39,439
須 走 中学校	校		3,995	H17.10		279	S55.3	格 屋			
	校		47	H17.10		1,664	H21.7				
	校		145	H21.7							
	計		4,187			1,943					
							6,130		9,419	13,206	22,625

※（ ）は地区児童屋内体育館

こども園

園名	園舎等の現状							園地の状況		
	園舎			屋内運動場			合計㎡	運動場㎡	園地敷地 その他 ㎡	合計㎡
	木造㎡	非木造㎡	建設 年月	木造㎡	非木造㎡	建設 年月				
するがおよまこども園 (第1園舎)		639	S59.3				639	300	2,786	3,086
	計	-	639							
するがおよまこども園 (第2園舎)		482	H3.3				545	1,212	1,698	2,910
	計	-	63							
すがぬまこども園		1,788	R4.3				1,788	975	5,497	6,472
	計	1,788	-							
きたごうこども園		1,961	H26.3				1,961	2,015	2,786	4,801
	計	1,961	-							
すばしりこども園 (第1園舎)		674	S53.3				674	1,153	1,039	2,192
	計	-	674							
すばしりこども園 (第2園舎)		1,122	H13.7				1,122	2,449	3,446	5,895
	計	-	1,122							

7 小学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1) 13	(4) 369	6	110	12	392	17	566	(1) 65	(4) 2,011
昭和60年	14	513	(1) 12	(4) 320	6	157	16	577	13	460	(1) 61	(4) 2,027
平成7年	12	385	(1) 11	(5) 261	6	128	13	433	14	418	(1) 56	(5) 1,625
平成12年	11	289	(1) 7	(5) 187	6	125	12	419	12	413	(1) 48	(5) 1,433
平成17年	10	261	(1) 7	(2) 177	6	130	12	362	(1) 14	(3) 407	(2) 49	(5) 1,337
平成22年	6	182	(2) 8	(6) 168	6	119	(1) 11	(2) 314	(1) 13	(2) 380	(4) 44	(10) 1,163
平成27年	6	165	(2) 8	(3) 147	6	102	(1) 12	(2) 303	(2) 12	(8) 284	(5) 44	(13) 1,001
令和2年	(1) 7	(1) 139	(2) 8	(2) 119		85	(2) 14	(4) 351	(2) 10	(4) 219	(7) 45	(11) 913
令和3年	(1) 7	(1) 131	(2) 8	(3) 114		65	(2) 14	(11) 352	(2) 10	(5) 223	(7) 45	(20) 885
令和4年	(1) 7	(2) 139	(1) 7	(2) 120		68	(2) 14	(10) 361	(2) 10	(7) 228	(6) 44	(21) 916

()は特別支援学級・児童数、内数

8 中学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1)	(11)					(1)	(11)
	16	585	6	193	6	201	28	979
昭和60年	(1)	(6)					(1)	(6)
	15	571	8	296	6	173	29	1,040
平成7年	(1)	(2)					(1)	(2)
	13	447	8	252	3	114	24	813
平成12年	(1)	(2)					(1)	(2)
	13	413	6	197	5	145	24	755
平成17年	(1)	(1)			(1)	(2)	(2)	(3)
	10	286	7	223	6	135	23	644
平成22年	(2)	(4)	(1)	(3)	(1)	(3)	(4)	(10)
	11	280	7	183	5	127	23	590
平成27年	(2)	(6)	(1)	(2)	(1)	(3)	(4)	(11)
	9	214	6	158	4	110	19	482
令和2年	(2)	(4)	(1)	(1)	(2)	(6)	(5)	(11)
	8	199	7	146	5	80	20	425
令和3年	(2)	(4)			(2)	(6)	(4)	(10)
	8	205	6	144	6	89	20	438
令和4年	(2)	(5)	(1)	(3)	(2)	(5)	(5)	(13)
	9	182	7	161	6	95	22	438

()は特別支援学級・児童数、内数

9 幼稚園在園者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山幼稚園				駿河幼稚園				足柄幼稚園			
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	－	33	35	68	－	45	35	80	－	32	23	55
昭和60年	－	33	33	66	－	15	16	31	－	17	20	37
平成7年	－	25	27	52	－	20	19	39	－	12	18	30
平成12年	－	25	41	66	17	16	26	59	－	19	17	36
平成17年	－	13	17	30	15	13	10	38	10	14	12	36
平成22年	－	－	－	－	駿河小山幼稚園				12	11	7	30
	－	－	－	－	19	12	20	51				
平成27年	－	－	－	－	17	17	13	47	8	10	9	27
令和元年度	－	－	－	－	16	11	12	39		3	3	6
区分 年度	北郷幼稚園				須走幼稚園				合 計			
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	－	56	47	103	－	81	55	136	－	247	195	442
昭和60年	－	32	45	77	－	56	47	103	－	153	161	314
平成7年	40	44	33	117	－	68	64	132	40	169	161	370
平成12年	45	40	33	118	－	56	49	105	62	156	166	384
平成17年	30	18	34	82	58	56	71	185	113	114	144	371
平成22年	22	26	24	72	47	59	46	152	100	108	97	305
平成27年	－	－	－	－	30	46	29	105	55	73	51	179
令和元年度	－	－	－	－	24	35	25	84	40	49	40	129

※平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

※平成26年3月31日：北郷幼稚園廃止。平成26年4月1日：きたごう保育園と統合によりきたごうこども園開園。

※令和2年3月31日：足柄幼稚園廃園。

令和2年4月1日：幼稚園・保育園統合により町立こども園として開園。

駿河小山幼稚園・いきど保育園→するがおやまこども園

すがぬま保育園→すがぬまこども園

須走幼稚園・すばしり保育園→すばしりこども園

10 保育園・こども園在園者数の推移

(各年度4月1日現在)

区分 年度	(旧) 藤曲保育園							いきど保育園						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	12		20		30	28	90	14		23		33	18	88
昭和60年	8		27		30	25	90	1	12		26	29	31	99
平成7年	2		5		9	14	30	1	6		15	16	18	56
平成12年								0	5	11	20	14	20	70
平成17年								3	7	6	20	11	17	64
平成22年								0	5	13	11	13	12	54
平成27年								0	10	8	13	13	8	52
								するがおやまこども園						
令和2年								1	7	9	12	29	20	78
令和3年								1	6	10	15	17	29	78
令和4年	1	5	5	13	13	18	55							
区分 年度	すがぬま保育園							すばしり保育園						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	14		38		31	27	110	7		30		29	23	89
昭和60年	11		27		30	42	110	16		30		23	28	97
平成7年	4	15		12	9	12	52	7		14		10	24	55
平成12年	2	8	12	14	15	15	66	4	10	9	10	22	17	72
平成17年	2	12	15	19	20	16	84	3	15	17	15	27	5	82
平成22年	5	6	18	22	25	21	97	5	13	16	12	15	12	73
平成27年	1	12	15	16	12	15	71	5	6	13	12	21	21	78
	すがぬまこども園							すばしりこども園						
令和2年	3	8	11	14	20	12	68	4	12	16	35	34	50	151
令和3年	2	7	11	14	15	20	69	4	15	16	40	33	39	147
令和4年	2	7	13	20	18	18	78	5	11	14	26	32	32	120
区分 年度	きたごう保育園							合 計						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	17		40		25	26	108	64		151		148	122	485
昭和60年	11		35		46	50	142	59		145		158	176	538
平成7年	13		16		20	31	80	48		62		64	99	273
平成12年	2	4	11	21	27	20	85	8	27	43	65	78	72	293
平成17年	2	7	10	30	21	22	92	10	41	48	84	79	60	322
平成22年	7	13	12	27	23	18	100	17	37	59	72	76	63	324
	きたごうこども園													
平成27年	5	17	20	56	47	49	194	11	45	56	97	93	93	395
令和2年	6	17	19	50	55	55	202	14	44	55	111	138	137	499
令和3年	6	11	18	30	47	56	168	13	39	55	99	112	144	462
令和4年	4	12	12	27	29	48	132	12	35	44	86	92	116	385

※平成9年3月31日：藤曲保育園廃止。

※平成26年3月31日：きたごう保育園廃止。平成26年4月1日：北郷幼稚園と統合によりきたごうこども園開園。

※令和2年3月31日：足柄幼稚園廃園。

令和2年4月1日：幼稚園・保育園統合により町立こども園として開園。

駿河小山幼稚園・いきど保育園→するがおやまこども園

すがぬま保育園→すがぬまこども園

須走幼稚園・すばしり保育園→すばしりこども園

11 教職員の構成

令和4年5月1日現在（単位：人）

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
職 名	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	4	1	5	3		3	7	1	8
教 頭	3	2	5	1	2	3	4	4	8
教 諭	(1) 23	(4) 28	(5) 51		(2) 13	(2) 34	(1) 44	(6) 41	(7) 85
養 護 教 諭		(1) 6			3	3		(1) 9	
任期付・臨時 教 諭		8	8	4	3	7	4	11	15
栄 養 教 諭		1	1		1	1		2	2
事 務 職 員	2	3	5	1	3	4	3	6	9
非 常 勤 講 師 (会 計 年 度 任 用 職 員)		11	11	2	5	7	2	16	18
カ ウ ン セ ラ ー (非 常 勤)				1	1	2	1	1	2
合 計	32	60	(5) 92	33	(2) 31	(2) 64	(1) 65	(7) 91	(8) 156
町 単 独 講 師	2	3	5	3		3	5	3	8
町 非 常 勤 講 師 (支 援 員)		19	19	1	3	4	1	22	23
町 臨 時 職 員 (事 務 ・ 用 務 ・ 給 食 員 等)	2	32	34	1	13	14	3	45	48

()は産休・育休等職員、内数

12 中学校卒業後の進路

学校名 区分 年度	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合 計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
H17年度	83 98.8	1 1.2		84 100	69 97.1	2 2.9		71 100	37 100			37 100	189 98.5	3 1.5	0 0	192 100
H22年度	83 97.6	1 1.2	1 1.2	85 100	67 100			67 100	43 100			43 100	193 99	1 0.5	1 0.5	195 100
H23年度	88 96.7	3 3.3		91 100	64 100			64 100	39 100			39 100	191 98.5	3 1.5	0 0	194 100
H24年度	103 100			103 100	53 100			53 100	36 97.3	1 2.7		37 100	192 99.5	1 0.5	0 0	193 100
H25年度	93 100			93 100	61 100			61 100	46 97.9	1 2.1		47 100	200 99.6	1 0.4	0 0	201 100
H26年度	76 100			76 100	51 100			51 100	28 96.5	1 3.5		29 100	155 99.4	1 0.6	0 0	156 100
H27年度	76 98.7	1 1.3		77 100	40 97.6	1 2.4		41 100	40 100			40 100	156 98.8	2 1.2	0 0	158 100
H29年度	66 100			66 100	48 98		1 2	49 100	29 100			29 100	143 99.4	0 0	1 0.6	144 100
H30年度	77 98.7		1 1.3	78 100	38 100			38 100	27 100			27 100	142 99.4	0 0	1 0.6	143 100
R元年度	62 100			62 100	40 100			40 100	25 100			25 100	127 100	0 0	0 0	127 100
R 2 年度	67 100			67 100	60 100			60 100	26 100			26 100	153 100	0 0	0 0	153 100
R 3 年度	70 100			70 100	41 100			41 100	21 100			21 100	132 100	0 0	0 0	132 100

13 今後5か年の就学児童推定表

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
成美小学校	139	135	130	126	119
明倫小学校	120	126	124	119	114
足柄小学校	68	70	71	70	68
北郷小学校	361	372	367	363	339
須走小学校	228	215	213	206	200
合 計	916	918	905	884	840

「令和4年度以降の児童数等調査より」

14 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対し、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、就学に係る保護者の経済的負担を軽減すると共に、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

(1) 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒数

令和4年5月1日現在

学 校 名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成 美 小 学 校	139 人	1 人	5 人	6 人	4.31 %
明 倫 小 学 校	120	1	11	12	10.00
足 柄 小 学 校	68			0	0.00
北 郷 小 学 校	361	1	1	2	0.55
須 走 小 学 校	228		5	5	2.19
小 学 校 計	916	3	22	25	2.72
小 山 中 学 校	182		15	15	8.24
北 郷 中 学 校	161		2	2	1.24
須 走 中 学 校	95		3	3	3.15
中 学 校 計	438	0	20	20	4.56
区域外通学者(中学生)					-

(2) 令和3年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

(単位：円)

校 種 別		小 学 校		中 学 校	
区 分		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 用 品 費 通 学 用 品 費 校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	第 1 学 年	2	24,860	8	181,840
	その他の学年	22	314,210	12	315,740
	計	24	339,070	20	497,580
校外活動費（宿泊を伴うもの）		0	0	2	4,758
新入学児童生徒学用品費等		5	267,300		
新入学児童生徒学用品費（小6）				6	360,000
修 学 旅 行 費		6	152,361	6	251,050
医 療 費					
学 校 給 食 費					
合 計			758,731		1,113,388

(3) 令和4年度特別支援学級在籍者数

令和4年5月1日現在

学 校 名	在籍者	学 校 名	在籍者
成 美 小 学 校	2 人	小 山 中 学 校	5 人
明 倫 小 学 校	2	北 郷 中 学 校	3
北 郷 小 学 校	10	須 走 中 学 校	5
須 走 小 学 校	7	中 学 校 計	13
小 学 校 計	21		

(4) 令和3年度特別支援教育就学奨励費実績

(単位：円)

区 分		小 学 校	支給人数	金 額	中 学 校	支給人数	金 額
学 校 給 食 費							
交 通 費	通学費（自家用車）		1	41,800		1	1,720
	交流学习費		15	3,900		7	2,000
修 学 旅 行 費			3	28,974		2	47,242
校外活動費	宿泊なし		10	6,904		3	3,465
	宿泊あり		0	0		5	15,148
新入学児童生徒学用品費等			3	76,665		3	77,027
学用品等購入費	新入学年		3	5,820		3	34,110
	その他学年		10	67,523		5	44,229
合 計			231,586		224,941		

15 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年以内に返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者数		貸与金額 (決算)	償還状況		年度末貸与 金額総額	当該年度末 貸付修了者	
		高校	大学	高校	大学		人数	金 額		高校	大学
	円	人	人	人	人	円	人	円	円	人	人
14	24,296,608			2	19	2,160,000	13	3,048,000	14,376,000		
15	26,296,937		1		18	1,224,000	15	4,032,000	11,568,000		
16	27,017,043	1		1	16	1,224,000	12	3,000,000	9,792,000		
17	26,797,196			3	15	2,160,000	10	2,286,000	9,666,000		
18	27,297,359			1	16	1,800,000	10	2,284,000	9,182,000		
19	27,407,409			3	16	2,880,000	9	2,270,000	9,792,000		3
20	27,454,357			1	14	2,880,000	5	1,296,000	11,376,000		3
21	27,510,256			4	16	3,240,000	4	1,152,000	13,464,000		1
22	27,539,662		1	3	18	3,744,000	7	2,300,000	14,908,000		6
23	27,550,006	1	4	2	8	2,988,000	7	2,588,000	15,308,000		
24	27,555,171	1	7	3	15	5,652,000	10	3,404,000	17,556,000	3	3
25	27,559,018	1	2	2	13	4,968,000	10	3,288,000	19,236,000		4
26	27,561,295	1	3	2	13	4,692,000	13	3,161,000	20,767,000	1	3
27	28,607,603		3	1	13	4,824,000	13	2,744,000	22,847,000		6
28	28,607,664		5	1	12	4,464,000	14	3,364,000	23,947,000	1	2
29	28,607,725		3		13	4,680,000	15	4,226,000	24,401,000		4
30	28,607,759		1		10	3,570,000	16	5,863,000	22,108,000		4
元	28,607,790		3		9	3,240,000	13	3,517,000	21,831,000		3
2	28,607,821				6	2,160,000	16	4,224,000	19,767,000		1
3	28,607,897		1		4	1,440,000	17	4,692,000	16,515,000		1

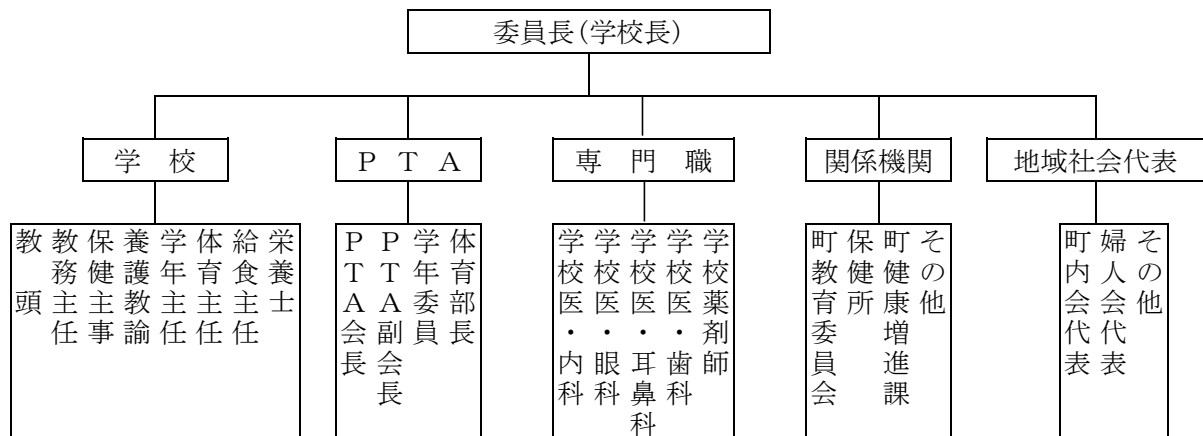
16 学校保健

こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。さらに、平成18年度から学校専門相談医制度を導入し、専門的技術指導の充実及び推進に努めています。

(1) 町の保健事業計画

- | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|
| ① 定期健康診断 | ④ 脊柱側弯症検診 | ⑦ 就学時健康診断 |
| ② 尿検査（対象：小・中・園全員） | ⑤ 運動器検診 | ⑧ 就園時健康診断 |
| ③ 心電図(心臓)検診（対象：小1・中1） | ⑥ 結核健康診断 | ⑨ 教職員健康診断 |

(2) 学校保健安全委員会組織図



(3) 校医・校歯科医・校薬剤師一覧(令和4年度)

園名・学校名	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
成美小学校	岩田 祥吾	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	小野 将之	神成 拓磨
明倫小学校	中川 靖夫	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	大木 長生	神成 拓磨
足柄小学校	中川 靖夫	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	小野 義晃	芹澤 一男
北郷小学校	友成 正明	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	鈴木 徳夫	神成 拓磨
須走小学校	田内 守之	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	斉藤 康裕	田嶋 ゆかり
小山中学校	岩田 祥吾	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	小野 将之	芹澤 一男
北郷中学校	中川 靖夫	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	鈴木 徳夫	芹澤 一男
須走中学校	田内 守之	六鹿 秀夫	齋藤 彰治	斉藤 康裕	田嶋 ゆかり
するがおよまこども園	岩田 祥吾			大木 長生	神成 拓磨
すがぬまこども園	中川 靖夫			小野 義晃	芹澤 一男
きたごうこども園	中川 靖夫			村井 恵太	芹澤 一男
すばしりこども園	田内 守之			斉藤 康裕	田嶋 ゆかり

(4) 児童・生徒の体格

(令和3年度)

区 分			小学校						中学校		
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
男 子	身長 cm	町	115.8	121.7	127.5	132.9	●	139.5	145.1	◎	●
		県	116.8	122.7	127.8	134.1	139.1	146.0	153.5	160.3	165.4
		全国	117.5	123.5	129.1	134.5	140.1	146.6	154.3	161.4	166.1
	体重 kg	町	21.4	24.5	27.3	31.1	●	35.5	39.2	◎	●
		県	21.7	24.5	27.4	31.7	35.1	39.8	44.6	49.3	54.1
		全国	22.0	24.9	28.4	32.0	35.9	40.4	45.8	50.9	55.2
女 子	身長 cm	町	115.4	120.8	127.5	132.5	◎	141.6	146.7	●	◎
		県	116.1	122.2	127.5	134.4	141.1	147.8	151.8	154.6	156.3
		全国	116.7	122.6	128.5	134.8	141.5	148.0	152.6	155.2	156.7
	体重 kg	町	20.9	23.3	27.1	29.1	◎	●	40.3	◎	◎
		県	21.1	24.0	27.1	30.6	35.2	40.0	43.6	47.0	49.9
		全国	21.5	24.3	27.4	31.1	35.4	40.3	44.5	47.9	50.2

県平均及び全国平均は、令和2年度文部科学省学校保健統計調査値。

○は全国平均を上回る。●は県平均を上回る。◎は全国平均・県平均を上回る。

17 日本スポーツ振興センター

(1) 月別災害発生件数

(令和3年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	131									1				1	0.8%
明倫小	114		1	1				1	1		1			5	4.4%
足柄小	65								1					1	1.5%
北郷小	352	1							2		1			4	1.1%
須走小	223	5		2				1	1			1	1	11	4.9%
計	885	6	1	3	0	0	0	2	5	1	2	1	1	22	2.5%
小山中	205	2	1	2	1		2					2	1	11	5.4%
北郷中	144			1			1	2		1		2		7	4.9%
須走中	89	1	2	3	2			1			1			10	11.2%
計	438	3	3	6	3	0	3	3	0	1	1	4	1	28	6.4%
こども園	219	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9	4.1%
合計	1,542	10	4	15	3	0	3	5	5	2	3	7	2	59	3.8%

(2) 学年別災害発生件数

(令和3年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	158	4	2.5%
	2	152	4	2.6%
	3	145	2	1.4%
	4	150	0	0.0%
	5	147	10	6.8%
	6	133	2	1.5%
中学校	1	169	12	7.1%
	2	137	10	7.3%
	3	132	6	4.5%
こども園		219	4	1.8%

(3) 負傷別・疾病件数

(令和3年度)

種類	小	中	こ	合計
骨折	8	13	1	22
捻挫	4	4	1	9
脱臼		2	1	3
挫傷・打撲	6	6	1	13
靱帯損傷・断裂		3		3
挫創				0
切創	1			1
刺創				0
割創				0
裂創				0
擦過創	1			1
熱傷・火傷				0
歯牙破折	1			1
その他				0
負傷	21	28	4	53
疾病	1	0	0	1
計	22	28	4	54

18 学校給食

(1) 経過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食を開始した。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校・明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校に町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

- ・昭和59年9月：成美小に当町初のドライシステム方式を採用。
- ・昭和60年9月：明倫小にドライシステム方式を採用。
- ・昭和61年10月：足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。続いて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

(2) 給食費

平成31年4月より子育て支援の充実を図ることを目的に、学校給食費の無償化を開始した。

給食費相当額

区 分	小 学 校	中 学 校
給食費（1人1か月当たり）	4,400 円	5,300 円
給 食 回 数（年間）	183 回	181 回
単 価（1食当たり）	264円 48銭	322円 10銭



ランチルームでの給食

19 放課後子ども教室・放課後児童クラブ一覧

(1) 放課後子ども教室

(令和4年4月1日現在)

教室名	開設年度	所在地	在籍人数						
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
成美小学校 放課後子ども教室	H29	藤曲150					9人	4人	13人
明倫小学校 放課後子ども教室	H30	菅沼627					2人	4人	6人
足柄小学校 放課後子ども教室	H31	竹之下 2430					1人	2人	3人
北郷小学校 放課後子ども教室	H28	用沢604-1					4人	5人	9人
須走小学校 放課後子ども教室	H27	須走70-18	3人	13人	11人	6人	9人	13人	55人

(2) 放課後児童クラブ

(令和4年4月1日現在)

クラブ名	開設年度	所在地	在籍人数						
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
成美小学校 放課後児童クラブ	H15	藤曲150	16人	8人	5人	2人	1人	0人	32人
明倫小学校 放課後児童クラブ	H14	菅沼627	17人	12人	7人	7人	3人	1人	47人
足柄小学校 放課後児童クラブ	H16	竹之下 2430	8人	8人	3人	5人	0人	0人	24人
北郷小学校 放課後児童クラブ	H11	用沢604-1	34人	22人	16人	6人	7人	0人	85人
須走小学校 放課後児童クラブ	H12	須走70-18	13人	12人	4人	3人	3人	0人	35人



北郷小学校放課後児童クラブ

IV 社会教育

1 社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及び

これらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期： 令和6年3月31日

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	湯山 久	学識経験者
副 委 員 長	湯山 薫	学識経験者
委 員	高橋 政之	小山町校長会（小学校長代表）
〃	櫻井 雅彦	小山町校長会（中学校長代表）
〃	原 秀人	小山町社会福祉協議会
〃	田丸 正勝	陸上自衛隊富士学校
〃	常盤 久美子	小山町文化連盟
〃	近藤 勝正	小山町体育協会
〃	湯山 峯子	小山町立図書館
〃	樽林 一美	小山町文化財保護審議会
〃	岩井 千秋	小山町連合婦人会
〃	岡村 春佳	小山町PTA連合会
〃	青木 渉	小山町子ども育成連合会長
〃	濱田 敏彦	ボーイスカウト代表

2 生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、超高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を

伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的

意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から、社会教育の推進を

図っていく。

(1) 生涯学習推進委員会委員

任期： 令和6年3月31日

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	大森 康弘	副町長
副 委 員 長	高橋 正彦	教育長
〃	湯山 久	社会教育委員長
委 員	湯山 薫	社会教育委員
〃	高橋 政之	〃
〃	櫻井 雅彦	〃
〃	原 秀人	〃
〃	田丸 正勝	〃
〃	常盤 久美子	〃
〃	近藤 勝正	〃
〃	湯山 峯子	〃
〃	樽林 一美	〃
〃	岩井 千秋	〃
〃	岡村 春佳	〃
〃	青木 渉	〃
〃	濱田 敏彦	〃
〃	白井 イロ	シニアクラブ代表
〃	平野 正紀	教育次長

(2) 生涯学習課施設関係

① 総合文化会館



所在地 : 小山町阿多野130
敷地面積 : 27,213.24 m² (体育館を含む)
建物面積 : 5,627.35 m²
延床面積 : 7,835.48 m²
金太郎ホール : 996席 車椅子6席/母子11席
開設 : 平成4年2月
電話番号 : 76-5700

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、毎年多くの方々が利用しており、快適な施設運営とさらなる内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点づくりを進める。

平成27年度から指定管理者による管理・運営を行っており、令和2年4月に2期目を迎えた。

② 体育施設

総合体育館・小山球場・多目的広場・弓道場・小山道場・夜間照明施設の体育施設は、令和2年度以降も引き続きビル保善・シンコー・よしもと運営グループが指定管理者として管理運営している。また体育協会等との連携により、各種教室や大会等を開催し有効利用を図っている。

パークゴルフ場については、令和2年度から上記指定管理者が管理運営している。

③ 「夢ひろば」による事業PR

生涯学習事業のPR、利用促進につなげていくために、毎月「夢ひろば」を広報おやまに掲載する。

④ 施設利用の利便性の充実のための職員対応

平成27年度から指定管理者による管理運営を行い、民間のノウハウを導入した利用者へのサービスを提供している。令和2年度から2期目がスタートし、パークゴルフ場を含めた適切な管理運営が行われている。

⑤ 豊門公園及び豊門会館等の管理運営

令和4年度から豊門公園及び国登録有形文化財の豊門会館等を管理運営している。
公園管理や施設管理、来訪者サービスを提供し、文化財の利活用に努めている。

(3) 生涯学習関係事業計画

生涯学習推進と啓発のため次の事業を行う。

- ・ 推進組織の充実とネットワークづくり・生涯学習の啓発・生涯学習情報提供。
- ・ 文化芸術及びスポーツ振興条例の制定により、町民ニーズを幅広く反映した実効性のある振興基本計画を策定する。

① 生涯学習推進講演会開催

- ・ と き : 令和4年7月17日(日) 講師: 増田 明美『自分という人生の長距離ランナー』
- ・ と ころ : 総合文化会館 金太郎ホール

② 生涯学習フェスティバル

- ・ と き : 令和5年2月25日(土)
- ・ と ころ : 総合文化会館
- ・ 内 容 : 令和4年度の生涯学習活動の総括を行う場として体験、展示等を行う。

(4) 成人教育

① 家庭教育学級の開設奨励と指導

こども園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、児童の健全育成を進める。

- ・ 回数等 : 年間8～10回 1回2時間程度
- ・ 学 級 : こども園4学級 小学校5学級 中学校3学級 計12学級
- ※ 学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
- ※ プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。

② 社会教育団体、グループ活動を奨励指導

町内の社会教育団体の活動を支援し、連帯感のある地域づくりを図る。

③ 子育て支援センターきんたろうひろば相談室

家庭を中心とした子どものしつけ、教育の在り方等に関する相談を、利用者支援専門員が行う。

- ・ 場 所 : きんたろうひろば相談室
- ・ 方 法 : 面談による相談・電話による相談

④ 婦人団体の活動援助

自主的な学習活動と地域活動を行う婦人団体を援助し、その活性化を図る。

⑤ 楽しい子育て講座の実施

入園前の子どもを持つ親が、子育てを楽しむための講座

- ・ と き : 年間9回 10:00～11:30
- ・ と ころ : きんたろうひろば・町立図書館・集会室等
- ・ 対 象 : 今年度3歳児になる子とその保護者
- ・ 内 容 : 子育て講話・ふれあい遊び・タッチケアセラピー・親子でリトミック
親子運動会・絵本読み聞かせ講座・母親へのメッセージ、心の講座など

(5) 青少年教育

① 青年団体との連携

須走青年の会等の青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

- ・ 内 容 : 障害者施設行事支援・宿泊研修・スポーツ大会・成人式の運営支援等

② はたちの集いの実施(旧成人式)

- ・ と き : 令和5年1月8日(日) 10:00～12:00
- ・ と ころ : 総合文化会館 金太郎ホール
- ・ 内 容 : 式典等
- ・ 20歳の方には、はたちの集いとして、式典を実施。
- ・ 18歳、19歳の方には、お祝いの品として記念品を送付する。

③ 青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に、青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

- ・ 内 容 : 各種団体から青少年の実情を発表し、問題提起と情報共有等を行う。

④ 青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と、活動を活性化させるための事業を推進する。

- ・ 内 容 : 青少年健全育成チラシ配布・青少年補導の実施
中学生ボランティア・中学生職場体験

⑤ 青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と、関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

- ・ 内 容 : 補導員会議開催・夏祭り巡回・県内一斉補導の実施・声かけ運動への参加
※感染症防止のため一部中止

⑥ ふるさと金太郎博士事業の推進

地域行事への参加、企業見学等、地域と関わる活動を通じて、ふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指す。

- ・ 内 容 : 小学校3年生から中学校3年生を対象に、児童生徒が自主的に地域と関わる活動を応援する事業で、活動をポイントで評価し、ポイントの合計に応じて「ふるさと金太郎博士」等に認定する。
- ・ 実 績 : 令和3年度認定数 銅賞40人、銀賞11人、金賞4人、博士号1人

⑦ 金太郎教室(適応教室)

学校へ行けない子ども達の受け入れ教室。社会教育指導員が対応。

⑧ 地域学校協働活動の推進

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、
小山町型コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していく。

- ・ 内 容 ： 生涯学習課内に「地域学校協働本部」を置き、地域諸団体のゆるやかなネットワーク形成をもとに、地域と学校を結ぶ活動（学校応援ボランティア、中学生ボランティア、職場体験学習など）を計画する。

(6) 青少年問題協議会委員

任期： 令和5年3月31日

役 職	氏 名	所 属
会 長	池谷 晴一	小山町長
副会長	遠藤 豪	議会議長
副会長	高橋 正彦	教育長
委 員	室伏 辰彦	議会文教厚生委員長
〃	大森 康弘	副町長
〃	湯山 久	社会教育委員長
〃	鈴木 重利	小山町区長会長
〃	田丸 正勝	陸上自衛隊富士学校総務課長
〃	中西 浩	御殿場警察署長
〃	宮原 聖也	御殿場警察署小山交番長
〃	杉山 浩	須走小学校長
〃	櫻井 雅彦	小山中学校長
〃	鈴木 広隆	小山高等学校長
〃	臼井 芳廣	民生委員・児童委員会長
〃	小野 聰	保護司（小山支部長）
〃	小野 寛幸	小山町商工会長
〃	高橋 英子	小山町連合婦人会長
〃	池谷 義弘	青少年補導員代表
〃	岡村 春佳	小山町PTA連合会長
〃	青木 渉	小山町子ども会育成連合会長
〃	嘉藤 泰彰	須走青年の会会長

(7) 青少年補導員

任期： 令和5年3月31日

役 職	氏 名
補導員代表	池谷 義弘
補 導 員	久保 竜一
〃	高杉 勇哉
〃	田代 順一
〃	込山 正一郎
〃	稲葉 教文
〃	湯山 和彦
〃	岡村 春佳

役 職	氏 名
補導員	湯山 健太
〃	井上 実奈子
〃	岩田 若菜
〃	勝俣 伸一
〃	馬場 裕美
〃	柴田 数恵
〃	望月 一馬

3 芸術文化

(1) 「文化芸術の薫るまち おやま」の実現

文化芸術振興条例の制定に伴い、文化芸術振興施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、小山町文化芸術振興基本計画を策定した。今後は基本計画に基づき、町民ニーズを反映した各種施策を展開し、生涯学習推進委員会において、施策の進捗管理を行う。

(2) 趣味の教室・講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

① 町民講座

「豊門会館と西洋館」 令和4年8月20日（土）

「フレデリック・スタール博士の愛した富士山と九十九コレクション」 令和5年1月21日（土）

② ふるさと発見講座

「新東名高速道路見学」 令和4年5月21日（土）

「湯山文右衛門館資料館見学」 令和4年8月7日（日）

(3) 児童対象事業の実施

児童館を廃止したが、子供たちに豊かな遊びを与え、健康を維持し、情操を豊かにするため、児童の健全な育成と福祉の向上を推進する。

月	事業名	月	事業名
8	親子体操	9	こども体験・交流推進事業 「そば打ち体験」
8	わくわく科学教室①	12	町子連絵のコンクール表彰式
8	わくわく科学教室②	2	生涯学習フェスティバル

(4) 町民文化祭の開催

文化活動の成果発表の機会として実行委員会を設け文化祭を開催する。

- ・ とき : 令和4年10月15日（土）・16日（日）
- ・ ところ : 総合文化会館
- ・ 内容 : ・ 第65回文化展
文芸・華道・書道・絵画・陶芸・盆栽・山草・写真・手芸・茶道・囲碁
連合婦人会・町内小中学校・小山高校・一般
- ・ 第39回舞踊祭
- ・ 第23回民踊祭
- ・ 第15回ダンスフェスタ
- ・ 第46回音楽祭【合唱】【器楽】
- ・ 第23回歌謡祭

(5) おやまアートビレッジ事業

年間を通じ、公共施設等を有効活用して一流の音楽や作品に触れることにより、創作活動意欲の向上や文化芸術にチャレンジする機会を提供する。

(6) 町民文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第92号を発行する。

- ・ 内 容 : 創作・紀行文・随筆・詩・俳句・短歌・川柳・小中学生の作文、詩、俳句等

(7) 第44回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

- ・ と き : 令和4年10月27日(木)
- ・ と ころ : 総合文化会館 集会室 他

(8) その他

青少年海外チャレンジ応援事業交付金を令和4年度より創設、青少年期の子どもらが自らの意思をもって、スポーツや文化芸術活動のスキルアップを目指し、海外に留学を行う個人や団体に対し、審査のうえ費用の一部を助成

4 文化財保護及び活用

(1) 指定・登録文化財の保護と活用

町内の国指定文化財2件、国登録有形文化財8件、県指定文化財4件、町指定文化財18件の保護保全に努める。

また、国登録有形文化財である「森村橋」の修繕工事を平成29年度から実施し、明治39年に建設された当時の状態に復原した。また、令和2年に橋詰広場を整備し、来訪者が豊門公園と関連した「小山殖産興業遺産」を学習できる環境を整えることが出来た。

令和3年度から小山町文化財保存活用地域計画を作成しており、文化財調査だけでなく、文化財を支える人材育成、効果的な活用等も推進し、文化財の確実な保存を図る。

(2) 文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努めるとともに、文化財の価値を町内外へ周知していく。

また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

(3) 郷土芸能の育成援助

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動援助のための助成を行う。

(4) 文化財保存活用地域計画の策定

指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財にも焦点を当て保存・継承していくとともに、観光や地域学習の観点からも文化財を積極的に活用していくことを目的に「小山町文化財保存活用地域計画」を令和3年度から5年度にかけて策定する。

(5) 文化財保護審議会委員

任期：令和6年3月31日

役 職	氏 名	地区
委 員 長	樽林 一美	成美
副 委 員 長	大箕 正之	明倫
委 員	池谷 修	成美
〃	鈴木 利昌	足柄
〃	蘆月 玄成	足柄
〃	高梨 俊夫	北郷
〃	池谷 岩夫	北郷
〃	米山 芳子	須走
〃	石橋 良弘	須走

(6) 町内の文化財

① 国指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
特別名勝	富 士 山	S27. 11. 22	富士山須走口旧馬返しより上方の山体が該当
史跡	富 士 山	H23. 2. 7	富士浅間神社及び須走口五合目以上の登山道が該当

② 国登録文化財

種 別	名 称	登録年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建造物	豊門会館(和室)	H17. 11. 10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建造物	豊門会館(洋館)	H17. 11. 10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園西洋館	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園正門	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱。
建造物	豊門公園噴水泉	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建造物	豊門公園和田君遺恵碑	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建造物	森 村 橋	H17. 11. 10	小山133-6 明治39年建設。鋼製プラットトラス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建造物	松村家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
彫刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60. 3. 19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内刳・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天然記念物	富士浅間神社のハルニレ	S38. 2. 19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天然記念物	大胡田天神社のイチョウ	S41. 3. 22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天然記念物	柳島八幡神社の二本杉	S42. 10. 11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m



国登録有形文化財

「森村橋」

④ 町指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建造物	甘露寺宝篋印塔	S48. 10. 25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建造物	嘉慶銘宝篋印塔	S63. 12. 16	菅沼1112-2 梅林内に位置する。
建造物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建造物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建造物	富士山東口本宮 富士浅間神社社殿	H18. 8. 24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拝殿が一体化しているという特徴を有す。
史跡	乗光寺大森六代之墓	S48. 10. 25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
無形民俗 文化財	竹之下太鼓	S59. 12. 21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。
天然記念物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天然記念物	上野神明社のアカガシ	S58. 5. 1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天然記念物	富士浅間神社の エゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天然記念物	富士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻4.6m・目通3.1m・樹高27m・樹齢約300年
天然記念物	棚頭産神社のスギ	S63. 12. 16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天然記念物	用沢八幡宮の三本スギ	S63. 12. 16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m・丙3.5m 樹高約30m・樹齢約300年
彫刻	坂下区十王堂地藏菩薩坐像	H21. 12. 16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔 肉身金泥塗り、玉眼 像高:34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵画	坂下区十王堂十王図	H21. 12. 16	菅沼707-1 紙本着色・紙継ぎなし 表装後補 縦:111.4～112.0cm 横:37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡・典籍 古文書	坂下区十王堂 木食観正宝号軸	H21. 12. 16	菅沼707-1 絹本墨書・絹継ぎなし 布表装 作者:木食観正 縦:67.9cm 横:33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫刻	坂下区十王堂石仏	H21. 12. 16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高:25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期
建造物	藤曲浅間神社の 二宮金次郎墓碑	H27. 9. 25	藤曲168 1基 高さ:171.2cm、幅:98.1cm、 奥行:66.5cm 年代:安政4年(1857)11月 墓石の形状は、二宮の「一円融合」の思想を表す



小山町指定文化財
「藤曲浅間神社の二宮金次郎墓碑」

5 小山町埋蔵文化財等地名表

	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	遺 構	遺 物	文 献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコーヅ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礫	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠Ⅰ遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠Ⅱ遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	竪土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝・史跡						

6 図書館



所在地	: 小山町阿多野130
建物面積	: 951.23 m ²
蔵書数	: 113,447 冊 (R4.3.31現在)
開設	: 平成4年4月
電話番号	: 76-4270

町民の生涯学習の拠点として、常に身近にあって、日々の暮らしに何らかの形で役に立つ図書館を目指し、さらに、資料情報センターとしての役割を持ち、心豊かな人づくりをバックアップする図書館としての運営に努める。

(1) 資料の収集と整理

- ・ 図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画、寄贈図書の受け入れなどでその達成に努力する。

① 新刊本の選書等

- ・ 新刊案内等により選書し、各分類別の平均化に配慮する。
- ・ 利用者ニーズに応えるため、リクエストによる収集を行う。

② 郷土資料等の収集と保存管理

- ・ 官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存。
- ・ 地域発行新聞・雑誌等を製本保存し、資料の蓄積に努める。
- ・ 富士のある町として積極的に富士山資料の蓄積に努める。

③ 児童書等寄贈本の受け入れ整理

- ・ 利用者からの寄贈本の受け入れを行う。
- ・ 分類及び付帯装備と資料情報の電算入力作業。

④ 視聴覚資料の収集

- ・ ビデオ・CD・DVD資料の収集。

⑤ 廃棄図書の選択と整理事務

- ・ 傷んだ本等を選択し除籍手続きをする。
- ・ ふれあい広場に合わせ、古雑誌市を開催する。

⑥ 蔵書点検・管理事務

- ・ 年1回図書の移動、不明図書等把握のための点検作業を行い、蔵書管理に努める。

(2) 図書館活動・館内サービスの充実

- ・ 資料情報センター及び生涯学習の拠点として、図書館資料を媒体とした活動を展開する。

① レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

- ・ リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。＝随時
- ・ 平成27年度から検索システムを更新し、インターネット上で蔵書が確認可能。

② 読書グループ等の育成と援助

- ・ 図書館ファンクラブ＝夏休み期間 定員20名(小学校3～6年生対象)

③ 絵本・紙芝居等の読み聞かせ

- ・ お話しコーナー＝館内利用者対象

④ ブックスタートの実施

- ・ メッセージを伝えながら絵本を手渡す、5・6か月児とその保護者を対象にした“絵本を介しての子育て支援”を年6回実施。

⑤ 移動文庫、団体貸し出し

- ・ 役場本庁・須走支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。
- ・ 老人ホーム・こども園・学校等への団体貸し出しを奨励する。

⑥ ボランティア活動の育成

- ・ 図書館活動協力員の募集＝活動通年
- ・ 絵本の読み聞かせと図書館整理。
- ・ 作業・ブックスタート

⑦ 「小山町の図書館」の発行

- ・ 年1回、図書館の概要を示した小冊子を発行し図書館情報の広報に努める。

⑧ 本のリサイクル市の開催

- ・ 家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。

⑨ セカンドブック事業の実施

- ・ ブックスタート事業のフォローアップとして、町内小学校新入学児童に絵本1冊と読書通帳を贈呈。

⑩ 電算システムの運用

- ・ 図書館電算システムの運用により、利用者用タッチパネルで検索が自由にできる。

⑪ 開館時間の延長

- ・ 利用者の利便性をはかるため、開館時間を毎週火～土曜日は午後8時まで、日曜日及び祝日は午後6時まで時間延長する。（感染症拡大防止期間中は、午後6時閉館）

⑫ 臨時学習室の開設

- ・ 夏休み全日、学習者の利便をはかるために開館時間、臨時学習室を別室に随時設ける。

⑬ 読書通帳の導入

- ・ 平成27年度から読書活動の更なる推進のため、読書通帳を導入した。

⑭ 選書ツアーの開催

- ・ 町立図書館に配架する図書を選書する体験を平成28年度から実施。

⑮ 図書消毒機の設置

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、図書消毒機を設置。

(3) その他

民間事業者等が図書館に配架する雑誌を購入し、広告物を掲示して寄附を行う「雑誌スポンサー制度」を導入し、制度の普及と経費節減を図っている。

図書館を利用したいと思っている身体障害者等の図書館利用、弱者の方々へのサービスの提供について必要な機材を用意し利便性向上に努める。

7 社会体育

(1) スポーツ振興基本計画の策定

スポーツ振興条例の制定に伴い、スポーツ振興施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、小山町スポーツ振興基本計画を令和4年3月に策定。町民アンケート等のニーズや実態を把握し、計4回の小山町スポーツ振興審議会での審議を得て、『誰もがスポーツを楽しめるまち おやま』を基本目標に令和4年度からスポーツ振興に取り組む。

(2) 小山町スポーツ振興審議会

スポーツ基本法第10条及び小山町スポーツ振興条例第14条の規定に基づき、計画の策定、基本計画の進捗や推進等、スポーツの振興に関することを調査審議する小山町スポーツ振興審議会を令和3年6月に設置。

委員		任期：令和5年3月31日（R4.6.15時点）	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	室伏 武	〃	五十井 真琴
副 会 長	高橋 正彦	〃	豊田 俊介
委員	大森 康弘	〃	齋藤 広人
〃	湯山 伸彦	〃	臼井 イロ
〃	本田 章	〃	勝又 行雄
〃	岩田 大輔	〃	濱本 幸彦
〃	高杉 順子	〃	堀井 輝
〃	高橋 利考	〃	高村 良文
〃	室伏 智生	〃	長田 忠典
		〃	平野 正紀

(3) 体育施設等の有効活用

「ビル保善・シンコー・よしもと運営グループ」が指定管理者として体育施設を管理運営している。（令和2年4月からはパークゴルフ場を追加）また、体育協会との連携により、各種教室や大会等を開催し、社会体育の充実を図る。

(4) 体育関係団体との連携

スポーツ推進委員会を中心に、スポーツ推進の日として、誰もが気軽に実施できるスポーツの「モルック」など、各種レクリエーションスポーツの普及を計画に基づき、振興を図る。

体育協会や地区体育・スポーツ振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開生涯スポーツの振興を図る。

(5) スポーツ推進委員の派遣

各種団体の要請により、スポーツ推進委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

(6) スポーツ推進委員

任期： 令和6年3月31日

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	岩田 大輔	委 員	富川 博文
副 委 員 長	小見山 徹	〃	岩田 寿美
〃	勝亦 淳	〃	山崎 剛史
女 性 代 表	芹澤 千晴	〃	土屋 勇介
委 員	北田 記章	〃	加藤 早姫
〃	加藤 卓大	〃	土屋 八雲
〃	松本 陽平		
〃	岩田 真左子		

(7) 体育施設の開放

- ・ 学校体育施設開放 : 年間(有料)
- ・ 町民プール開放 : 7～8月に明倫小学校のプールを開放
- ・ スポーツ推進の日 : 毎月第4金曜日を中心に午後7時～午後9時 総合体育館等で実施。

(8) 各種大会の開催

- ・ 教委関係 レクスポ大会、ふれスポ（ふれあいスポーツ）祭（運動と健康を併せたイベント）
- ・ 体協関係
 小山町スポーツ祭（地区からの出場に拘らず実施）・町民体育大会・富士マラソンフェスタ
 町内駅伝大会及び周回コース駅伝大会・スポーツ少年団交流大会

(9) 各種教室、講習会の開催

- ・ スポーツ推進委員：スポーツ推進の日
- ・ 親子レクリエーションスポーツひろば・なわとびひろば
- ・ モルック・モルック体験会

(10) 町内体育施設の整備

- ・ 町内体育施設の利便性向上と老朽化対策を目的とした整備を研究
- ・ 令和4年度は小山町多目的広場の改修工事（ジョギングコース新設）を行う

(11) その他

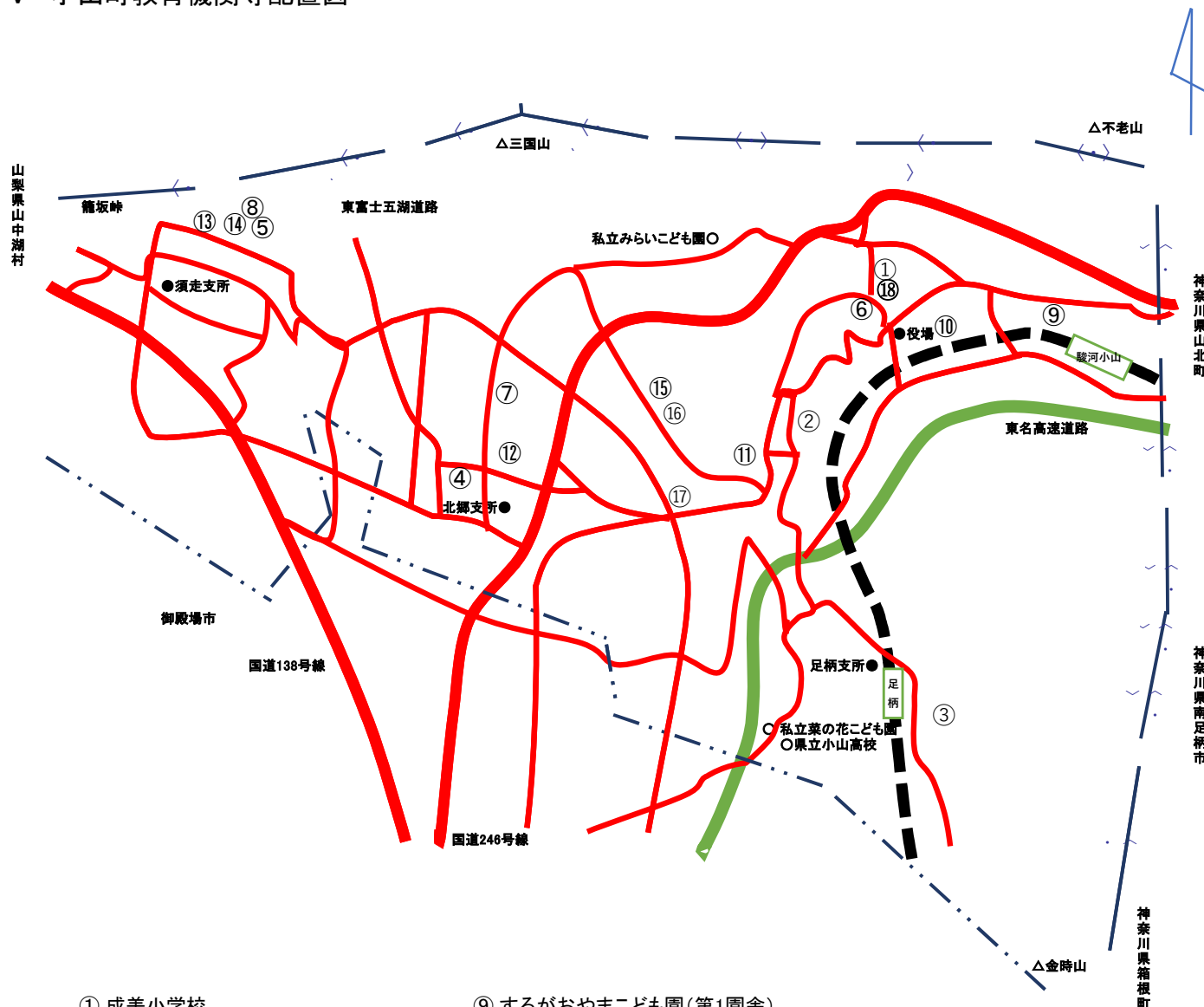
- ・ 駿東地区レクスポ大会・しずおかスポーツフェスティバル・静岡県市町対抗駅伝競走大会
- ・ 国民体育大会等参加奨励・各種団体、大会への助成

(12) 小山町体育施設一覧

小山町総合体育館	所在地	小山町阿多野125		
	敷地面積	27,214.24 m ² （総合文化会館を含む）		
	建物面積	2,587.44 m ² 1階 976.27 m ² 2階 アリーナ 34m×54m（H30改修） 観覧席 288席		
	延床面積	3,563.71 m ²		
	開設	平成8年4月		
	電話番号	76-5708		
小山町多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1		
	敷地面積	17,514.00 m ²		
	用途	400mトラック・サッカー ソフトボール・ゲートボール		
	規模	屋外便所 70.0 m ² シェルター 48.0 m ²		
	開設	平成6年6月		
小山球場	所在地	小山町阿多野35		
	敷地面積	16,680 m ²		
	建物面積	535.84 m ² (管理棟) 497.6 m ² (ダグアウト) 19.12 m ² ×2 観客席 780 席		
	グラウンド	両翼 94 m 中堅 121.9 m バックストップ 18.6 m		
	開設	平成6年6月（R2.3改修工事完了）		
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1		
	敷地面積	427.67 m ²		
	建物面積	157.41 m ²		
	延床面積	167.13 m ²		
	開設	平成9年3月		
小山町弓道場	所在地	小山町阿多野136-8		
	敷地面積	1,285m ²		
	建物面積	165.02m ²	(射場)	125.87m ²
			(的場)	39.15m ²
	開設	平成6年4月		

足柄地区町民プール (足柄小学校プール)	所在地	小山町竹之下2327
	本プール	25m×12m
	小プール	20m×7m
	開設	昭和47年
北郷地区町民プール (北郷小学校プール)	所在地	小山町用沢604-1
	本プール	25m×12m
	小プール	10m×10m
	開設	昭和48年
小山地区児童屋内体育施設 (小山中に併設)	所在地	小山町藤曲144-10
	建物面積	1,478.61㎡
	開設	昭和57年3月
菅沼地区児童屋内体育施設 (明倫小に併設)	所在地	小山町菅沼630-6
	建物面積	1,122.66㎡
	開設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 (北郷小に併設)	所在地	小山町用沢604-7
	建物面積	1,126.26㎡
	開設	昭和56年3月
小山地区夜間照明施設 (小山中学校内)	所在地	小山町藤曲144-10
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設 (北郷中学校内)	所在地	小山町用沢351-2
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設 (須走小学校内)	所在地	小山町須走70-18
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所在地	小山町吉久保221
	コース有効面積	7,213㎡
	コース全長	720m
	A(ふじ桜)コース	9ホール パー33
	B(菜の花)コース	9ホール パー33
	開設	平成15年4月
	電話番号	080-8250-7651
クラブハウス (小山町パークゴルフ場内)	建築面積	104.79㎡
	床面積	82.26㎡
	開設	平成30年4月

V 小山町教育機関等配置図



- | | |
|---|--|
| ① 成美小学校
成美小学校放課後児童クラブ
成美小学区放課後子ども教室 | ⑨ するがおやまこども園(第1園舎)
⑩ するがおやまこども園(第2園舎)
⑪ すがぬまこども園 |
| ② 明倫小学校
菅沼地区児童屋内体育施設
明倫小学校放課後児童クラブ
明倫小学校放課後子ども教室 | ⑫ きたごうこども園
⑬ すばしりこども園(第1園舎)
⑭ すばしりこども園(第2園舎)
⑮ 総合文化会館 |
| ③ 足柄小学校
足柄小学校放課後児童クラブ
足柄小学校放課後子ども教室 | 図書館
総合体育館
多目的広場
小山球場
弓道場
小山道場 |
| ④ 北郷小学校
用沢地区児童屋内体育施設
北郷小学校放課後児童クラブ
北郷小学校放課後子ども教室 | ⑯ 子育て支援センター「きんたろうひろば」
⑰ パークゴルフ場
⑱ 豊門会館 |
| ⑤ 須走小学校
須走小学校放課後児童クラブ
須走小学校放課後子ども教室
夜間照明施設 | |
| ⑥ 小山中学校
小山地区児童屋内体育施設
夜間照明施設 | |
| ⑦ 北郷中学校
夜間照明施設 | |
| ⑧ 須走中学校 | |

【発 行】

〒410-1395

静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2
小山町教育委員会 学校教育課

電話： 0550-76-6122

F A X : 0550-76-2795

MAIL: gakkou@fuji-oyama.jp